

令和5年
岩手県教育委員会定例会
8月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和5年8月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和5年8月21日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

- 第2 議案第19号 教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求め
ることについて (教育企画室)
- 第3 議案第20号 県立学校の設置及び廃止並びに県立学校の学科の設置
に関し議決を求めることについて (学校教育室)
- 第4 議案第21号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)
- 第5 議案第22号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)
- 第6 議案第23号 学校職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて (教職員課)

閉会

議案第 19 号

教育委員会の事務に係る点検及び評価に関し議決を求めることについて
教育委員会の事務に係る点検及び評価の結果に関する報告書を別添のとおりとすること
について、議決を求める。

令和 5 年 8 月 21 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐藤 一 男

理由

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定により、教育委員会の事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出しようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和4年度
教育委員会事務点検評価報告書
(主要施策の成果に関する説明書)

令和5年8月
岩手県教育委員会

目 次

いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）の 取組と成果-----	議19- 7
I 「健康・余暇」分野-----	議19-17
II 「家族・子育て」分野-----	議19-19
III 「教育」分野-----	議19-21
VII 「歴史・文化」分野-----	議19-24
政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります-----	議19-25
政策項目No.6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります-----	議19-28
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して 子どもの育ちと学びを支えます-----	議19-30
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります-----	議19-32
政策項目No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます-----	議19-34
政策項目No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます-----	議19-38
政策項目No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます-----	議19-42
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます-----	議19-45

政策項目No.15	いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります-----	議19-47
政策項目No.16	児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます-----	議19-50
政策項目No.18	地域に貢献する人材を育てます-----	議19-54
政策項目No.31	ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります-----	議19-58
政策項目No.41	豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます-----	議19-60
政策項目No.46	安全・安心を支える社会資本を整備します-----	議19-62
政策項目No.49	性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります-----	議19-64
参考資料 1	令和4年度「教育委員会事務点検評価報告書」指標一覧表---	議19-66
2	いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン 事務事業一覧表-----	議19-75

いわて県民計画（2019～2028）

政策推進プラン（2019年度～2022年度）の 取組と成果

岩手県では、平成31年（2019年）3月に、今後10年間を計画期間とする新しい総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、この計画の第1期アクションプランとして、2019年度から2022年度までの4年間を対象とした「政策推進プラン」を策定しました。

「政策推進プラン」では、各政策分野における幸福に関連する客観的な指標（いわて幸福関連指標）のほか、政策項目ごとに、取組の「基本方向」、「県が取り組む具体的な推進方策」、「県以外の主体に期待される行動」を示しています。

この報告書は、「いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）」で定めた目標がどれだけ達成できたかという視点で、教育委員会の令和4年度の事務事業の実績を評価したものであり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に定める教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価結果の報告書となるものです。

- ・ いわて県民計画（2019～2028）政策推進プラン（2019年度～2022年度）のうち、教育委員会が所管する政策分野（Ⅲ教育）及び政策項目（政策項目No.5、7、11～16、18）（ただし、他部局関係部分を除く。）並びに他部局が所管する政策分野及び政策項目のうち、教育委員会関係部分について掲載しています。
- ・ いわて幸福関連指標と具体的推進方策指標の令和4年度実績に基づく「達成度」の考え方は、次のとおりです。

達成度の区分	目標達成率	■達成度 令和4年度にどれくらい達成したかを示す割合 ■目標達成率の計算式 ①通常の指標（現状値から数値を上げる目標） $\frac{(R4 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値})}{(R4 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値})} \times 100$ ②維持指標等（現状値を維持する目標等） $(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値等}) \times 100$
達成 (A)	100%以上	
概ね達成 (B)	80%以上100%未満	
やや遅れ (C)	60%以上80%未満	
遅れ (D)	60%未満	

- ・ 数値を維持することを目標とする指標には、指標名の前に「◆」を表示しています。
- ・ 指標によっては、実績値が確定していない、令和4年度目標値を設定していないなどの理由で、数値や達成度を「-」としている場合があります。

1 位置付け

- (1) 地方自治法第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき県議会に提出する事務の管理・執行状況の点検評価結果報告書

2 内容

平成31年3月に策定した「いわて県民計画(2019～2028)」の政策推進プラン(2019年度～2022年度)を対象に、平成29年を基準年度(現状値)として、令和5年3月末時点の各指標の達成度を示すもの。(基準年度から見た年度目標に対する到達度)

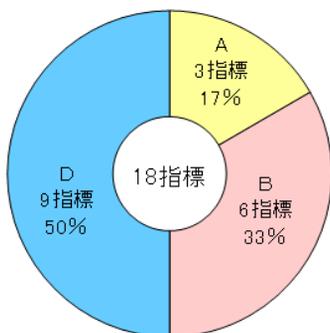
3 政策推進プランの令和4年度の達成状況

- (1) 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標である「**いわて幸福関連指標**」18(18)*の「**概ね達成**」以上の割合は**50%**となりました。〔※指標数の()内は、未測定指標を含む全指標数。(2)に同じ。〕
- (2) 県が主体となって具体的に取り組む「**具体的な推進方策**」を示した**112(114)**の指標の「**概ね達成**」以上の割合は**51%**となりました。

グラフの見方:「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

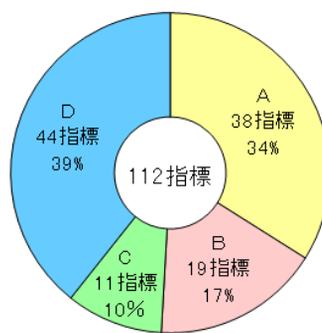
(1) 「いわて幸福関連指標」の達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 9指標(50%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 9指標(50%)



(2) 「具体的な推進方策指標」の達成状況

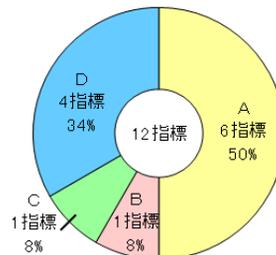
- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 57指標(51%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 55指標(49%)



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況

政策項目No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

- ① 具体的な推進方策指標12指標は、達成度A、Bの指標が7指標、達成度C、Dの指標が5指標です。
- ② 達成度Dの指標は、生涯学習情報提供システム(ホームページ)利用件数(ホームページのリニューアル作業に当たり、ページの一部が閲覧不可となったことなどのため)、「読書がとてもし楽しい」と感じる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(スマートフォン等の利用時間の増加をはじめ、読書以外の活動の選択肢の増加等により、読書に親しむ機会が減少したため)です。



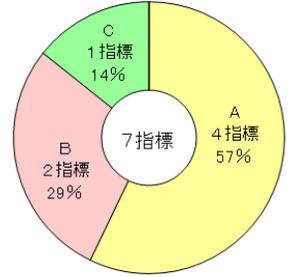
政策項目No.6 安心して子どもを生き育てられる環境をつくります

- ① 具体的な推進方策指標3指標は、達成度Aの指標が1指標、達成度Cの指標が2指標です。
- ② 達成度Cの指標は、放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】、すこやかメールマガジンの登録人数(親世代においてはメール等ではなくSNSを利用している割合が増加しており、登録数が伸びなかったため)です。



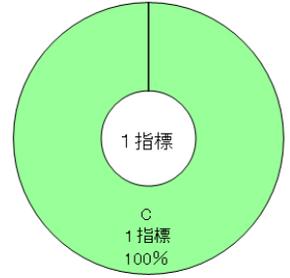
政策項目No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

- ①具体的推進方策指標7指標は、達成度A、Bの指標が6指標、達成度Cの指標が1指標です。
- ②達成度Cの指標は、放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合(指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画が変更されたため)です。



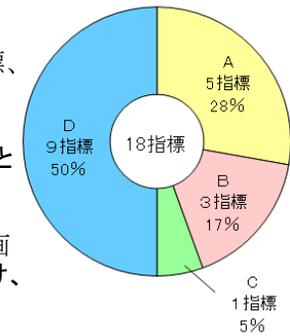
政策項目No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

- ①具体的推進方策指標1指標は、達成度Cの指標が1指標です。
- ②達成度Cの指標は、放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】です。



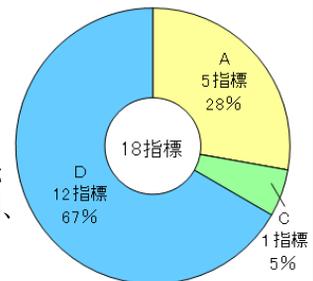
政策項目No.11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

- ①具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bの指標が8指標、達成度C、Dの指標が10指標です。
- ②達成度Dの指標は、学校の授業が分かる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(学校の組織的な取組による授業改善が進まなかったため)、つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合(中学生・高校生)(つまずきを積み残さないための対応や、系統的な指導改善である学年・校種を越えた取組が効果的に進まなかったため)、弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(学習計画の立て方や学習方法を改善させる取組等が効果的に進まなかったため)、生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合(生徒が年度当初に希望していた進路希望を変更したことや個々の生徒の事情により、目標を達成できなかった学校があったため)です。



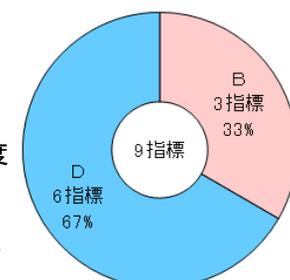
政策項目No.12【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

- ①具体的推進方策指標18指標は、達成度Aの指標が5指標、達成度C、Dの指標が13指標です。
- ②達成度Dの指標は、自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合(小学生・中学生)(学校活動の制限により積極的に児童生徒一人ひとりの良さを認める取組のほか、他者の価値観を認め尊重し合う人間関係を構築する機会を十分に得られなかったため)、学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験学習や集団宿泊体験等の機会が減少したため)、「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)【再掲】、様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術に関する体験活動等の機会が減少したため)、社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合(高校生)(生徒の社会情勢等への関心を十分に喚起するには至らなかったため)です。



政策項目No.13【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

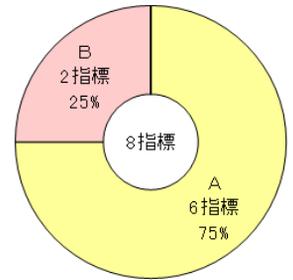
- ①具体的推進方策指標9指標は、達成度Bの指標が3指標、達成度Dの指標が6指標です。
- ②達成度Dの指標は、部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合(中学校)(日頃から一定の共通理解を図る取組が行われていることから、部活動連絡会を開催しない学校があったため)、「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合(小学生・中学生)(朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による運動時間の減少により、肥満傾向児の割合が増加したため)、ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)【再掲】です。



4 教育委員会所管の政策項目の具体的な推進方策の状況（つづき）

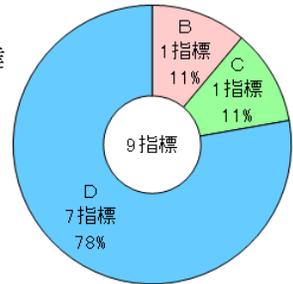
政策項目No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

- ① 具体的推進方策指標8指標は、達成度A、Bの指標が8指標です。
- ② 推進方策「就学前から卒業後までの一貫した支援の充実」では、学校間及び関係機関との連携や切れ目ない支援の充実に向け、特別な支援を必要とする児童生徒の様子や支援内容等を記載する引継ぎシートを活用し、個々の状況に応じた支援に取り組みました。



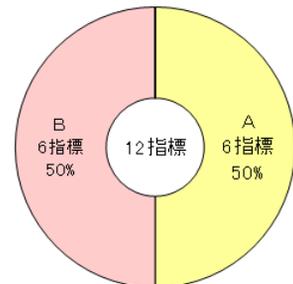
政策項目No.15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

- ① 具体的推進方策指標10指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度Bの指標が1指標、達成度C、Dの指標が8指標です。
- ② 達成度Dの指標は、いじめはいけなと思う児童生徒の割合(小学生・中学生)(いじめの定義や各校の学校いじめ基本方針の児童生徒の理解が深まっていないことから、目標の100%に届かなかったため)、学校が楽しいと思う(学校に満足している)児童生徒の割合(小学生・中学生)(新型コロナウイルス感染症の影響による学校行事の縮小等など、教育活動に制限が生じたため)、ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)(全ての児童生徒がルールの意味を理解し守ることが大切であるという認識を持たせるまでには至らなかったため)です。



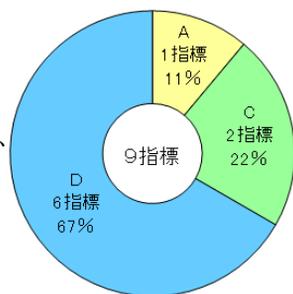
政策項目No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

- ① 具体的推進方策指標12指標は、達成度A、Bの指標が12指標です。
- ② 推進方策「安心して学べる環境の整備」では、教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察等により実施した登下校時の通学路の合同点検の結果、対策が必要とされた箇所について、通学路の整備・変更等による安全確保を推進しました。



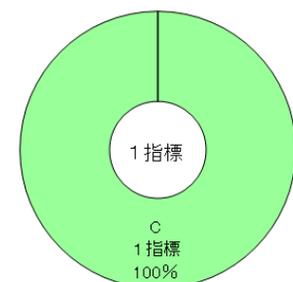
政策項目No.18 地域に貢献する人材を育てます

- ① 具体的推進方策指標9指標は、達成度Aの指標が1指標、達成度C、Dの指標が8指標です。
- ② 達成度Dの指標は、自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(中学生・高校生)(新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での体験的学習に制約があり、学習内容と実社会とのつながりを感じる機会が減少したため)、自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合(中学生・高校生)(新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での体験的な取組による地域の良さを認識する機会が減少したため)、将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合(新型コロナウイルス感染症の影響により生徒が体験的な学習を通じてキャリアデザインを行う機会が減少したため)、中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合(中学生)(英語の学習意欲を高めるような取組や、学びに向かう力をかん養するための質の高い言語活動が十分に進まなかったため)です。



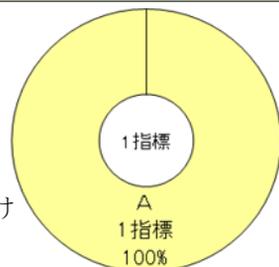
政策項目No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

- ① 具体的推進方策指標1指標は、達成度Cの指標が1指標です。
- ② 達成度Cの指標は、放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】です。



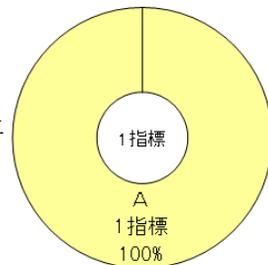
政策項目No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

- ①具体的推進方策指標1指標(文化財保存活用地域計画の策定に取り組んでいる市町村数〔累計〕)は、達成度Aの指標が1指標です。
- ②推進方策「様々な文化財などを活用した交流の推進」では、地域ごとに文化財を継承していくため、文化財の保存と活用に関する大綱を基に市町村が策定する文化財保存活用地域計画の策定に向けて情報提供や助言を行いました。



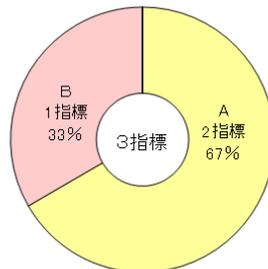
政策項目No.46 安全・安心を支える社会資本を整備します

- ①具体的推進方策指標1指標(県立学校の耐震化率【再掲】)は、達成度Aの指標が1指標です。
- ②推進方策「公共建築物等の耐震化による安全の確保」では、学校施設の機能・性能の向上を図るため、学校施設の耐震化、トイレの洋式化等に取り組みました。



政策項目No.49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくりま

- ①具体的推進方策指標3指標(学校における男女混合名簿の使用率)は、達成度A、Bの指標が3指標です。
- ②推進方策「多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備」では、各種会議等における男女混合名簿の使用を前提とした積極的な働きかけや「いわての教職員研修ガイドブック」の「男女共同参画の推進」の項目において、性別による順番の固定化の見直しや改善を働きかけるなど、男女混合名簿の使用促進について取り組みました。

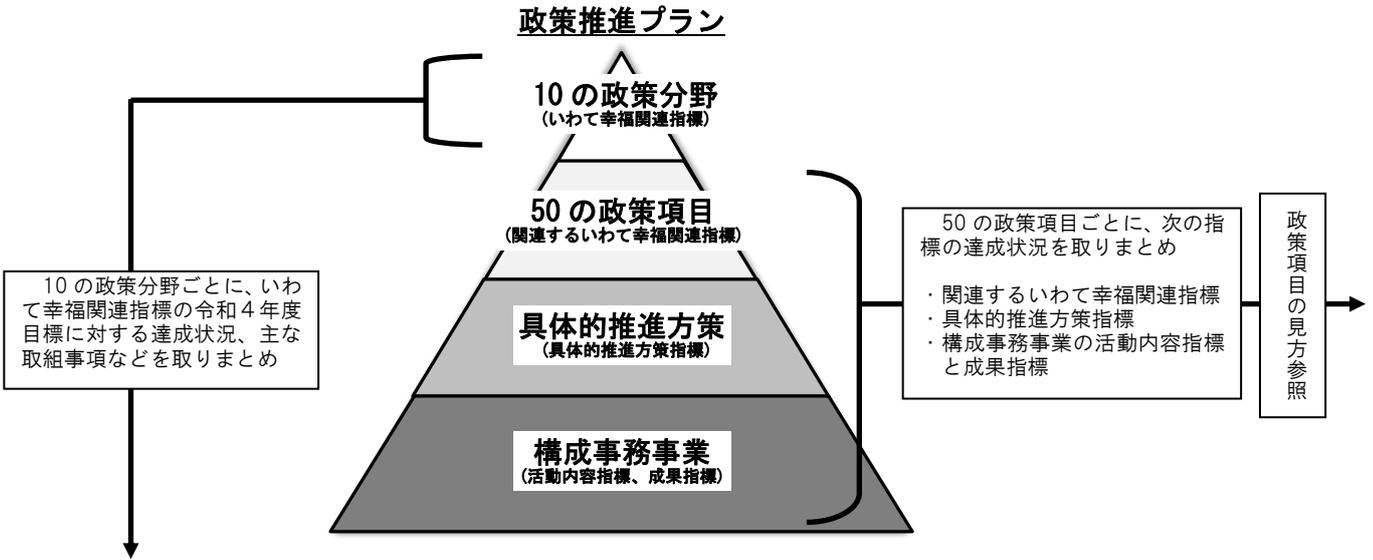


5 教育委員会所管の構成事業の状況

政策項目	活動内容指標 (157指標)				成果指標 (167指標)			
	A	B	C	D	A	B	C	D
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます	2	1			1	1	1	
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくりま	10	2			6	3	2	
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくりま	6				15			
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	9				10			
9 仕事と生活を両立できる環境をつくりま	3				3			
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	17	1			18	1		
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	8				9	2		
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	12	2	1	2	12	1	3	
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	13				14			
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくりま	7	3			7			
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます	20	1			23	2		
18 地域に貢献する人材を育てま	26				24	4		
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくりま	1	1				1	1	
40 世界遺産の保存と活用を進めます	3					1		
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げま	5	1			1			
46 安全・安心を支える社会資本を整備しま					1			
計	142	12	1	2	144	16	7	0
割合	90%	8%	1%	1%	86%	10%	4%	0%

本書の見方

本書では、いわて県民計画長期ビジョンに示した 10 の政策分野と、それを構成する 50 の政策項目について、各種指標の達成状況や県の取組状況などの情報を掲載しています。



政策分野の見方

III 教育

学びや人づくりによって、
将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

○ いわて幸福関連指標 16 指標は、達成度A、Bの指標が8指標 (50%)、達成度Dの指標が8指標 (50%)でした。

・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学生男子・女子の全国順位は上昇、小学生女子は横ばい、小学生男子は下降しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考) 全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 80.9	84.9	81.2	D	-	-	-
20	%	中 77.2	81.2	83.2	A	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 80.7	84.7	82.6	D	-	-	-
22	%	中 80.0	84.0	83.3	B	-	-	-
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 66	70	66	D	-	-	-
24	%	中 64	68	68	A	-	-	-
25	%	高 57	61	65	A	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 82.3	85.0	77.3	D	-	-	-
27	%	中 76.9	80.0	78.1	D	-	-	-
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	65.0	D	14位 (2位)	15位 (2位)	下降 (横ばい)
29	%	小 女子 82.9	83.0	77.1	B	9位 (2位)	9位 (2位)	横ばい (横ばい)
30	%	中 男子 77.7	78.0	73.6	B	7位 (1位)	4位 (2位)	上昇 (下降)
31	%	中 女子 91.3	91.5	88.4	B	8位 (1位)	3位 (1位)	上昇 (横ばい)
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	68.0	66.0	B	-	-	-
33 高卒者の県内就職率	%	65.8	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 86.5	88.0	82.6	D	-	-	-
35	%	中 73.2	76.0	73.3	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	45.3	51.5	教育関連以外のものは非表示としています。				

○政策分野名
10 の政策分野名と政策分野の取組方向を記載

○いわて幸福関連指標の達成度
いわて幸福関連指標の達成度ごとの構成比と指標数を円グラフで表示
※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
○概要
いわて幸福関連指標の達成度の状況などを記載

○いわて幸福関連指標の状況
いわて幸福関連指標の目標値や令和 4 年度の実績値などを記載

※囲み数字は掲載データの年度を表しています。
※実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○全国順位 (東北順位)
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と H29 現状値との比較を記載

○10の政策分野に対応するいわて幸福関連指標の状況
 いわて幸福関連指標の指標名、目標値や令和4年度の目標に対する達成度などを記載
 【達成度の計算式】
 ・通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標）

$$(R4 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R4 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$$
 ・マイナス指標（H29 現状値から数値を下げる目標）

$$(H29 \text{ 現状値} - R4 \text{ 実績値}) / (H29 \text{ 現状値} - R4 \text{ 目標値}) \times 100$$
 ・維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）

$$(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値等}) \times 100$$
 ※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。

$$(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値}) \times 100$$

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合（小学生）：児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ教員研修を、授業改善に関連付ける取組が効果的に進みませんでした。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合（小学生）：授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行う取組を、授業改善に関連付ける取組が十分に進みませんでした。

○特記事項

達成度がCまたはDとなった「いわて幸福関連指標」に係る取組状況について、指標データ等により説明

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（小学生）：各学校において、道徳教育や特別活動の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科等や体験活動等と関連を図りながら、教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分に進みませんでした。
- ・ 自己肯定感を持つ児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校において、自他の生命の大切さや個性の伸長などの育成に向けて、道徳教育や特別活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動など多様な教育活動と連携を図りながら、自他の良さを認め合い、自分の目標に向けてやり遂げる機会の充実や、児童生徒が多様性を認め合う環境づくりが十分に進みませんでした。
- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合（小学生男子）：朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム^{※1}増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い教育活動等が制限されたことで体力向上の取組が減少しました。
- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校で教育活動全体を通じてキャリア教育の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた行事が中止や縮小されたことにより、体験を通じて将来の夢や目標を実感する機会が減少しました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 ㊦ 42	46	-
		小 算数 ㊦ 50	52	-
		中 国語 ㊦ 45	40	-
		中 数学 ㊦ 54	56	-
不登校児童生徒数(千人当たり)	人	小 3.4	-	-
		中 25.9	-	-
		高 13.1	-	-

○参考指標

いわて幸福関連指標を補完するために設定した参考指標の状況

主な取組事項

- これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
 就学前教育の充実を図るため、令和4年4月に「いわて幼児教育センター」を開所し、幼児教育専門員による就学前教育施設への訪問支援を実施しました。
 また、関係生課、関係機関等との連携を強化し、幼児教育推進連携会議の開催、「いわて就学前教育振興プログラム」の策定、「岩手県保育者のための学びのらしんばん」（保育者育成指標）の作成に取り組みました。
- 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
 全県立学校に可搬式アクセスポイント及び置き型Wi-Fiルーター、大型提示装置等を追加整備し、ICTを活用した授業を特別教室等でも実施可能とすることで、生徒の多様な学びに対応できる環境を整備しました。
 また、指導者用端末を整備し、生徒の一人一台端末と合わせて、授業におけるICT活用の推進に向けて取り組みました。
 さらに、「GIGAスクール運営支援センター」^{※2}の開設により、各校からのICT利活用に関する問い合わせ等に対応する支援体制を強化しました。
- 主権者教育などによる社会に参画する力の育成
 選挙権年齢や成年年齢の引下げに伴い、児童生徒が主体的に社会に参画する力を育成するため、関係機関と連携し、地域課題の把握や解決策を考える探究的な学習や、政治への参画意識を高める主権者教育、多様な契約・消費者保護の仕組みなどを学習する消費者教育などに取り組みました。
- 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実及び適切な部活動体制の推進
 「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進し、児童生徒一人ひとりが健康で活力のある生活を送ることができるよう、優良実践校の表彰や実践交流会を開催し、優れた取組事例の普及に取り組みました。
 また、部活動指導員の活用等により部活動の質的向上を図ることに加え、市町村教育委員会等に対し、地域クラブ活動への移行に向けた手引きや県内及び全国各地で取り組んでいるモデル事業等の情報提供に取り組みました。

○主な取組事項

10の政策分野ごとに取り組んだ主な内容を取りまとめて記載

III 教育

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

急激な社会変化に向き合い、他者と協働しながら、新たな価値を創造することができる児童生徒を育むため「主体的・対話的で深い学び」の推進などにより、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成します。
 また、児童生徒の「確かな学力」を育むため、諸調査の効果的な活用や情報通信技術（ICT）の活用などにより、児童生徒の実態に応じた授業改善や家庭学習の充実に取り組みます。
 さらに、情報化やグローバル化など変容する社会に対応し、岩手の未来を担う人材を育成するため、探究的な学習の推進や進学指導の充実などにより、生徒が希望する進路を実現できる力を育みます。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 A、B の指標が 2 指標（50%）、達成度 D の指標が 2 指標（50%）でした。
 ・ 具体的推進方策指標 19 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 8 指標（45%）、達成度 C、D の指標が 10 指標（55%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.9	84.9	81.2	D	-	-	-
		中 ㊦ 77.2	81.2	83.2	A	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.7	84.7	82.6	D	-	-	-
		中 ㊦ 80.0	84.0	83.3	B	-	-	-

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合（小学生）：児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ教員研修を、授業改善に関連付ける取組が効果的に進みませんでした。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合（小学生）：授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行う取組を、授業改善に関連付ける取組が十分に進みませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
9	%	小 国語 ㊦ 42	46	-
10		小 算数 ㊦ 50	52	-
11		中 国語 ㊦ 45	40	-
12		中 数学 ㊦ 54	56	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度



説明

具体的推進方策指標 19 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 8 指標（45%）、達成度 C、D の指標が 10 指標（55%）でした。

○ 具体的推進方策指標の達成度

政策項目ごとの具体的推進方策指標の達成度の構成比と指標数を円グラフで表示
 ※構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。

【達成度の計算式】

- ・ 通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標）
 $(R4 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R4 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ・ マイナス指標（H29 現状値から数値を下げる目標）
 $(H29 \text{ 現状値} - R4 \text{ 実績値}) / (H29 \text{ 現状値} - R4 \text{ 目標値}) \times 100$
- ・ 維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）
 $(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値等}) \times 100$

※ なお、累計指標のうち、この計算式により難しい場合は、次の計算式により算出しています。
 $(R4 \text{ 実績値}) / (R4 \text{ 目標値}) \times 100$

○ 政策分野名
10 の政策分野名を記載

○ 政策項目名
50 の政策項目名を記載

○ 政策項目の基本方向
政策項目に関して取り組む基本方向を記載

○ 概要
政策項目に関連するいわて幸福関連指標及び具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

○ いわて幸福関連指標の状況
政策項目に関連するいわて幸福関連指標の目標値や令和 4 年度の実績値などを記載

○ 全国順位（東北順位）
いわて幸福関連指標の、全国順位・東北順位と H29 現状値との比較を記載

○ 特記事項
政策項目の取組状況について、指標データ等により説明

○ 参考指標
参考指標の状況を記載

※ 囲み数字は掲載データの年度を表しています。
 ※ 実績値が確定しない等の指標及び順位を測定できない指標は「-」と表示しています。

○ 説明
具体的推進方策指標の達成度の状況などを記載

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
124	%	小 70	100	95	B
125		中 50	100	96	B
126		高 ー	100	100	A
127	%	小 ㊦ 85	89	88	C
128		中 ㊦ 83	87	87	A
129		高 ㊦ 54	58	71	A
130	%	小 ㊦ 90	94	89	D
131		中 ㊦ 77	81	79	D
132		高 ㊦ 76	80	77	D
133	%	㊦ 59	100	97	B

○具体的推進方策名
「政策項目の基本方向」の実現に向け、県が主体となって取り組む具体的な推進方策名を記載

○具体的推進方策指標の状況
具体的推進方策指標の目標値や令和3年度の値などを記載

【特記事項】

- ・ 授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合（小学生）：学習指導要領に定める「資質・能力を育む効果的な指導」ができるよう、教員が授業改善に取り組みましたが、児童生徒が自己評価や相互評価等を通じて、達成感や学習内容について有用感を育むための学校の組織的な授業改善が進みませんでした。
- ・ 学校の授業が分かる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：学習指導要領に定める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教員が授業改善に取り組みましたが、資質・能力を育む効果的な指導として、これまでの1単位時間の授業展開から単元や題材等のまとまりで資質・能力を身に付けさせるなど、学校の組織的な取組を通じた授業改善が進みませんでした。

○特記事項
具体的な推進方策の取組状況について、指標データ等により説明

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳					活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D	
							(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
5	25	24	5	2	0	17	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	8 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	

○推進方策を構成する事業の状況
具体的な推進方策を構成する事務事業の数、県が実施した具体的な推進方策に係る投入コスト（R4実績）、活動内容指標及び成果指標の達成度について掲載を記載

- ・ 事業数
推進方策を構成する事業数を記載
- ・ 予算額
4年度最終予算額を記載
- ・ 決算額
4年度決算額を記載（財源内訳も記載）
- ・ 活動内容指標
事業の活動内容を示す指標
達成度＝実績値/計画値×100
- ・ 成果指標
事業の成果を示す指標
達成度＝実績値/目標値×100

※投入コストは、端数四捨五入の計算のため、事業数又は財源の内訳は、合計と一致しない場合があります。
※達成度の構成比は、端数四捨五入の計算のため、100%にならない場合があります。
※個別事業の詳細は巻末一覧表に掲載

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は23位、満足度は24位となり、ニーズ度は26位となっています。

○その他
指標以外の動向について、県民意識調査結果及び政策項目の基本方向に対する特徴的な動きなど、当該政策項目を取り巻く状況について記載

参考1：達成度の判定区分

目標達成率	100%以上	80%以上 100%未満	60%以上 80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

※ 実績値が未確定等の場合は「-」と表示しています。

※ 具体的推進方策指標と事務事業の成果指標が同じ場合がありますが、両者の計算式は異なる（具体的推進方策指標はH29 現状値を踏まえ計算しているが、事務事業の成果指標はR 4 の実績値と目標値のみから計算）ため、達成度の評価が同一とならない場合があります。

参考2：本説明書で用いる記号

○ 指標名等で用いる記号

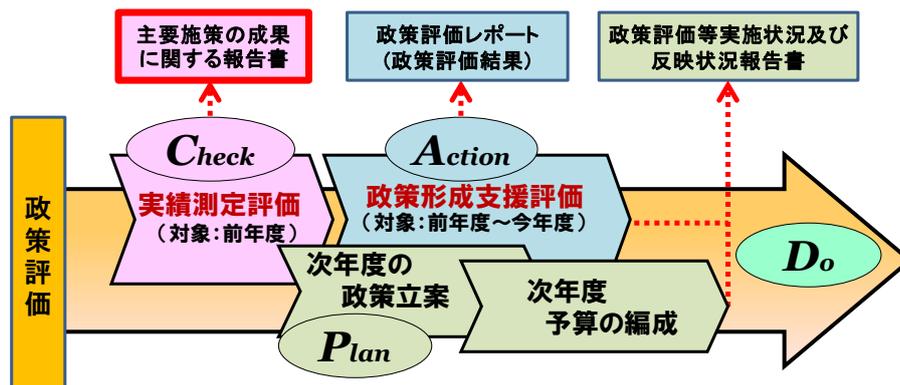
「▼」：H29 現状値から数値を下げることを目標とする指標（マイナス指標）

「◆」：H29 現状値等を維持することを目標とする指標（維持指標）

（記号を付していないものは、主にH29 現状値から数値を上げることを目標とする指標（通常の指標）を示す。）

参考3：本書の位置付けについて

本報告書は政策評価のマネジメントサイクルのうち、「実績測定評価」部分の結果を取りまとめたものです。本報告書の内容を踏まえ、年度後半に実施する「政策形成支援評価」において、今回の指標達成状況と併せ、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、政策推進プランの施策に反映させていきます。

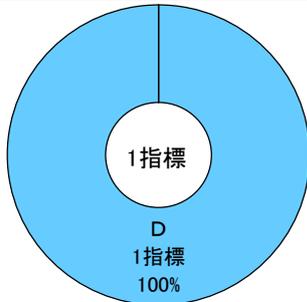


健康・余暇

健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、

また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Dの指標が1指標(100%)でした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
1	年	男性 ㊸ 79.32	㊸ 80.60	教育関連以外のものは非表示としています。				
健康寿命[平均自立期間]		女性 ㊸ 83.96	㊸ 84.84					
3	人	男性 ㊸ 305.1	㊸ 273.8					
4		がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数[10万人当たり]	女性 ㊸ 158.7					
5	人	21.0	16.0					
6	%	98.71	98.86					
7	箇所	㊸ 16	27					
8	分	㊸ 373	390					
9	件	1,316	1,385					
10	%	61.7	㊸ 65.0					
11	%	40.2	44.2					

※1 全国を100とした水準

※2 1日の24時間から睡眠や食事などの生理的に必要な時間と、仕事や家事などの社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動時間を差し引いた時間であり、休日を含む1週間の平均

※3 岩手県内公立文化施設協議会加盟施設のうち、各市所在の主な12施設の催事数

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、県民の多様な学び・活動が制限されました。

【参考指標】

調査項目		単位	現状値 (H29)	R4	備考
1	健康寿命〔日常生活に制限のない期間〕	年	男性 ㊹ 71.85	教育関連以外のものは非表示と しています。	3年ごとの公表
2			女性 ㊹ 74.46		3年ごとの公表
3	喫煙率	%	㊹ 22.6		3年ごとの公表

主な取組事項

■多様な学習機会の充実及び学びと活動の循環による地域の活性化

地域住民が生涯学習で学んだ成果を地域課題の解決等に役立てるなど、学びと活動の循環を促すため、県立生涯学習推進センターを活用し、生涯学習・社会教育関係職員や指導者・ボランティアを対象とした地域づくりに関する研修や交流機会の提供等により、地域づくり人材の育成に取り組みました。

■岩手ならではの学習機会の提供

県民の郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、社会教育施設等における自然体験や復興防災教育、岩手の歴史講座の開催などにより、岩手ならではの学習機会の提供に取り組みました。

■社会教育の中核を担う人材の育成

県民の生涯を通じた学習活動を支援するため、社会教育関係者や地域づくり関係者、地域学校協働活動推進員などを対象とした研修会の開催や実践交流などを通じた指導者相互のネットワーク化の推進などにより、社会教育の中核を担う人材の育成に取り組みました。

■多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

学びたい時に学べる環境を提供するため、県立博物館や県立美術館、県立図書館における多様な企画展の開催や県立青少年の家における各種体験プログラムの実施等により、幅広い学びのニーズに応じた学習機会の提供に取り組みました。

II 家族・子育て

家族の形に応じたつながりや支え合いが生まれ、

また、安心して子育てをすることができる岩手

いわて幸福関連指標の達成度

【概要】

教育関連以外のものは非表示としています。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
12 合計特殊出生率		1.47	1.58					
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0					
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	㊸ 63.7	64.0					
15 総実労働時間[年間]	時間	1,858.8	1,720.8					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]*	%	34.2	40.0					
17 犬、猫の返還・譲渡率	%	犬 98.0	99.0					
18		猫 93.5	96.8					

教育関連以外のものは非表示としています。

※ 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681		-
5 共働き男性の家事時間	分	100		-
6 共働き女性の家事時間	分	292		-
7 生涯未婚率	%	男性 ㊶ 26.16		5年ごとの公表
8		女性 ㊶ 13.07		5年ごとの公表

教育関連以外のものは非表示としています。

主な取組事項

■学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

市町村への訪問説明会等で全国及び県内のコミュニティ・スクールの導入状況や先進事例の情報提供を行いました。

また、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムにおけるコミュニティ・スクールの効果的な取組事例の発表等を通じて、導入や導入後の運営の在り方について、学校関係者や地域住民等に広く周知しました。

■県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

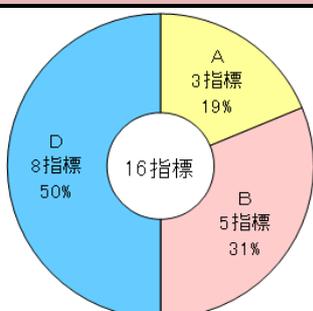
県民と協働した特別支援教育を進めるため、特別支援教育サポーター養成講座を開催するとともに、地域の特別支援学校において、特別支援教育サポーターによる授業の補助や学校生活の支援が行われるよう、特別支援教育ボランティアバンクを通じた調整に取り組みました。

III 教育

学びや人づくりによって、

将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標 16 指標は、達成度A、Bの指標が8指標 (50%)、達成度Dの指標が8指標 (50%)でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合」は、中学生男子・女子の全国順位は上昇、小学生女子は横ばい、小学生男子は下降しました。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)			
						H29	R4	比較	
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊸ 80.9	84.9	81.2	D	-	-	-	
20		中 ㊸ 77.2	81.2	83.2	A	-	-	-	
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊸ 80.7	84.7	82.6	D	-	-	-	
22		中 ㊸ 80.0	84.0	83.3	B	-	-	-	
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊸ 66	70	66	D	-	-	-	
24		中 ㊸ 64	68	68	A	-	-	-	
25		高 ㊸ 57	61	65	A	-	-	-	
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊸ 82.3	85.0	77.3	D	-	-	-	
27		中 ㊸ 76.9	80.0	78.1	D	-	-	-	
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	65.0	D	14位 (2位)	15位 (2位)	下降 (横ばい)	
29		小 女子 82.9	83.0	77.1	B	9位 (2位)	9位 (2位)	横ばい (横ばい)	
30		中 男子 77.7	78.0	73.6	B	7位 (1位)	4位 (2位)	上昇 (下降)	
31		中 女子 91.3	91.5	88.4	B	8位 (1位)	3位 (1位)	上昇 (横ばい)	
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	-	68.0	66.0	B	-	-	-	
33 高卒者の県内就職率	%	65.8	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。					
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 ㊸ 86.5	88.0	82.6	D	-	-	-	
35		中 ㊸ 73.2	76.0	73.3	D	-	-	-	
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	45.3	51.5	教育関連以外のものは非表示としています。					

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合 (小学生) : 児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ教員研修を、授業改善に関連付ける取組が効果的に進みませんでした。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合 (小学生) : 授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行う取組を、授業改善に関連付ける取組が十分に進みませんでした。

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（小学生）：各学校において、道徳教育や特別活動の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科等や体験活動等と関連を図りながら、教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分に進みませんでした。
- ・ 自己肯定感を持つ児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校において、自他の生命の大切さや個性の伸長などの育成に向けて、道徳教育や特別活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動など多様な教育活動と連携を図りながら、自他の良さを認め合い、自分の目標に向けてやり遂げる機会の充実や、児童生徒が多様性を認め合う環境づくりが十分に進みませんでした。
- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合（小学生男子）：朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム※¹増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い教育活動等が制限されたことで体力向上の取組が減少しました。
- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校で教育活動全体を通じてキャリア教育の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた行事が中止や縮小されたことにより、体験を通じて将来の夢や目標を実感する機会が減少しました。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
9	学力が全国水準未満の児童生徒の割合	小 国語 ㊦ 42	46	-
10		小 算数 ㊦ 50	52	-
11		中 国語 ㊦ 45	40	-
12		中 数学 ㊦ 54	56	-
13	不登校児童生徒数[千人当たり]	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

主な取組事項

■ これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

就学前教育の充実を図るため、令和4年4月に「いわて幼児教育センター」を開所し、幼児教育専門員による就学前教育施設への訪問支援を実施しました。

また、関係室課、関係機関等との連携を強化し、幼児教育推進連携会議の開催、「いわて就学前教育振興プログラム」の策定、「岩手県保育者のための学びのらしんばん」（保育者育成指標）の作成に取り組みました。

■ 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

全県立学校に可搬式アクセスポイント及び置き型Wi-Fiルーター、大型提示装置等を追加整備し、ICTを活用した授業を特別教室等でも実施可能とすることで、生徒の多様な学びに対応できる環境を整備しました。

また、指導者用端末を整備し、生徒の一人一台端末と合わせて、授業におけるICT活用の推進に向けて取り組みました。

さらに、「GIGAスクール運営支援センター」※²の開設により、各校からのICT利活用に関する問い合わせ等に対応する支援体制を強化しました。

■ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

選挙権年齢や成年年齢の引下げに伴い、児童生徒が主体的に社会に参画する力を育成するため、関係機関と連携し、地域課題の把握や解決策を考える探究的な学習や、政治への参画意識を高める主権者教育、多様な契約・消費者保護の仕組みなどを学習する消費者教育などに取り組みました。

■ 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実及び適切な部活動体制の推進

「よりよい運動習慣」「望ましい食習慣」「規則正しい生活習慣」の各習慣を相互に関連付けた一体的な取組を推進し、児童生徒一人ひとりが健康で活力のある生活を送ることができるよう、優良実践校の表彰や実践交流会を開催し、優れた取組事例の普及に取り組みました。

また、部活動指導員の活用等により部活動の質的向上を図ることに加え、市町村教育委員会等に対し、地域クラブ活動への移行に向けた手引きや県内及び全国各地で取り組んでいるモデル事業等の情報提供に取り組みました。

■就学前から卒業後までの一貫した支援の充実、特別支援教育の多様なニーズへの対応、県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

学校間及び関係機関との連携や切れ目ない支援の充実に向け、特別な支援を必要とする児童生徒の様子や支援内容等を記載する引継ぎシートを活用し、個々の状況に応じた支援に取り組みました。

また、特別支援教育サポーター養成講座を開催するとともに、地域の特別支援学校において、特別支援教育サポーターによる授業の補助や学校生活の支援を通じて、県民と協働した特別支援教育の推進を図りました。

さらに、釜石祥雲支援学校の新校舎の整備など、岩手県立特別支援学校整備計画に基づく教育環境の充実に取り組みました。

■いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対応

日常の学校生活における児童生徒の観察やアンケート調査等を行い、悩みを抱えた児童生徒の早期発見に努めるとともに、いじめを未然に防止するための学校の取組事例を紹介しました。

また、スクールカウンセラー等と連携を図りながら、きめ細かな対応を通して児童生徒の心のサポートに取り組みました。

さらに、県教育委員会に「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」を新たに配置し、校長等からの相談に対し助言することで、学校のいじめ等の初期段階における適切な対応に取り組みました。

■安心して学べる環境の整備

教育委員会、学校、PTA、道路管理者、警察等により実施した登下校時の通学路の合同点検の結果、対策が必要とされた箇所について、通学路の整備・変更等による安全確保を推進しました。

また、スクールガード・リーダー等による見守り活動や、関係機関と連携した交通安全教室、防犯教室等の安全教育を推進しました。

■魅力ある学校づくりの推進

「いわての高校魅力化グラウンドデザイン for 2031」に基づき、各県立高等学校において地域等の関係機関と協働したスクール・ポリシー^{※3}の作成に取り組みました。

また、各県立高等学校において、総合的な探究の時間等で、地元自治体や企業等の関係機関と協働しながら探究的な学びを実践するなど、特色・魅力ある教育活動の充実を図りました。

■多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供

教育支援センター（適応指導教室）やフリースクール等民間団体と連携した不登校児童生徒支援連絡会議を開催し、不登校児童生徒の支援に係る課題の共有や、学校と教育支援センター、フリースクール等との連携の在り方について意見交換を行うなど、不登校児童生徒への教育機会の確保に取り組みました。

■「いわての復興教育」の推進

「いわての復興教育」^{※4}プログラムに基づき、各学校が行う復興教育の取組を支援しました。

また、プログラムに基づく副読本「いきる かかわる そなえる」（改訂版）の活用研修会を開催するとともに、絵本を活用した就学前教育からの継続的な復興教育の推進を図りました。

さらに、プログラムと絵本の英語版を作成し、ホームページに掲載して国内外に発信しました。

【用語解説】

※1 スクリーンタイム：テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等の使用時間。

※2 GIGAスクール運営支援センター：ヘルプデスクや訪問指導等により授業での効果的なICT活用を支援する目的で設置したもの。

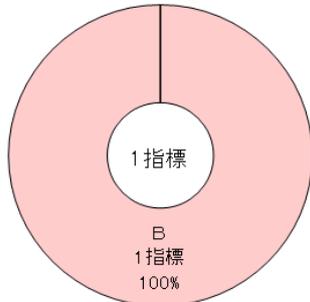
※3 スクール・ポリシー：今後の県立高等学校の在り方、期待される社会的役割等を明確化するため、令和3年10月に策定した「いわての高校魅力化グラウンドデザイン for2031」（岩手県立高等学校に関するスクール・ミッション）を踏まえ、各県立高校が策定する3つの方針（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受け入れに関する方針）。

※4 いわての復興教育：東日本大震災津波の体験を踏まえ、県内全ての学校がそれぞれの実情に応じて取り組むことができる教育プログラムを作成・普及することにより、子どもたち自らの未来を切り拓く力を育むとともに、県内の全ての学校が心を1つにして震災を見つめ、郷土を愛し、いわての復興・発展を担う「ひとづくり」を進めていくための教育。

VII 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手

いわて幸福関連指標の達成度



【概要】

- いわて幸福関連指標1指標は、達成度Bの指標が1指標（100%）でした。
- ・ いわて幸福関連指標のうち全国比較が可能な「国、県指定文化財件数」は、全国順位が横ばいでした。

いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考) 全国順位 (東北順位)		
						H29	R4	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	教育関連以外のものは非表示としています。				
63 国、県指定文化財件数	件	㊸ 565	581	579	B	㊸ 31位 (3位)	31位 (3位)	横ばい (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	396	396					

主な取組事項

■ 様々な文化財などを活用した交流の推進

歴史的建造物や史跡公園などの文化財を会議・レセプション・イベント等に活用している事例の収集を行い、情報発信に取り組みました。

5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります

（基本方向）

生涯を通じて楽しく学ぶことができ、一人ひとりの学びを地域コミュニティの再生・維持・向上や地域の課題解決に役立てていくため、情報通信技術（ICT）を活用した学習情報の提供等や、「地域学校協働活動」への参加の促進などにより、多様な学習機会の充実を図り、学びの成果を地域の活性化につなげる仕組みづくりを推進します。

また、県民一人ひとりの郷土に対する誇りや愛着を醸成するため、自然、文化、歴史など、有形・無形のあらゆる資源を学びの対象や場とすることにより、岩手ならではの学びの提供に取り組みます。

さらに、誰もが学びたい時に学べる環境を整備するため、指導者の研修会等により、社会教育の中核を担う人材を育成するとともに、多様な学びのニーズに応じた社会教育施設の充実を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 D の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 12 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（58%）、達成度 C、D の指標が 5 指標（42%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
8 余暇時間[一日当たり]*	分	28 373	390	教育関連以外のは非表示としています。				
11 生涯学習に取り組んでいる人の割合	%	40.2	44.2	36.9	D	-	-	-

※ 1日の24時間から睡眠や食事などの生理的に必要な時間と、仕事や家事などの社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動時間を差し引いた時間であり、休日を含む1週間の平均

【特記事項】

- ・ 生涯学習に取り組んでいる人の割合：新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、県民の多様な学び・活動が制限されました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度</p> <p>12指標</p> <p>A 6指標 50%</p> <p>B 1指標 8%</p> <p>C 1指標 8%</p> <p>D 4指標 34%</p>	<p>具体的推進方策指標 12 指標は、達成度 A、B の指標が 7 指標（58%）、達成度 C、D の指標が 5 指標（42%）でした。</p>

(1) 多様な学習機会の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
62	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数	人	792	910	911	A
63	生涯学習情報提供システム(ホームページ)利用件数	件	63,542	120,000	68,489	D
64	「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合	%	小 ㊸45	50	44	D
65			中 ㊸42	51	37	D
66			高 ㊸38	52	32	D
67	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	73.1	C

【特記事項】

- 生涯学習情報提供システム(ホームページ)利用件数：ホームページのリニューアル作業に当たり、ページの一部の閲覧不可などがありました。
- 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)：関係者の研修会開催や小中学校1年次におけるブックリスト配布などにより、読書環境の整備や読書意欲の向上に努めましたが、スマートフォン等の利用時間の増加をはじめ、読書以外の活動の選択肢の増加等により、読書に親しむ機会が減少しました。
- 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合：県内すべての教室で子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、事業に要する経費補助等に取り組みましたが、指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画の変更がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	121	97	48	0	0	49	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (75%)	1 (25%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 岩手ならではの学習機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
68	県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数(オンラインを含む)	人	②623	1,020	1,046	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	783	774	22	56	0	696	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)

(3) 学びと活動の循環による地域の活性化

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
69	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数【再掲】	人	792	910	911	A
70	教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数	件	②3,411	3,900	3,852	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	122	99	48	0	0	51	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 社会教育の中核を担う人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
71 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数	人	79	123	155	A

(5) 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
72 県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合	%	91	91	92	A
73 県立青少年の家における利用者の満足度の割合	%	97	97	99	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	783	774	22	56	0	696	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和5年県民意識調査によると「自分に適した内容や方法で学べる環境」の重要度は49位、満足度は38位となり、ニーズ度は44位となっています。

II 家族・子育て

6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の構築や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した療育支援体制の充実を図ります。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（33%）、達成度 C の指標が 2 指標（67%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
12 合計特殊出生率		1.47	1.58			教育関連以外のものは非表示としています。		
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0					

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681		—
7 生涯未婚率	%	男性 ㉗ 26.16		5年ごとの公表
		女性 ㉗ 13.07		

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>3指標 A 1指標 33% C 2指標 67%</p>	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（33%）、達成度 C の指標が 2 指標（67%）でした。</p>

(1) 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

(2) 安全・安心な出産環境の整備

(3) 子育て家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
83 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	73.1	C

【特記事項】

- 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合：県内すべての教室で子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、事業に要する経費補助等に取り組みましたが、指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画の変更がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	121	97	48	0	0	49	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

(5) 障がい児の療育支援体制の充実

(6) 家庭教育を支える環境づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
95 すこやかメールマガジンの登録人数	人	1,041	5,000	4,062	C
96 子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	人	502	600	892	A

【特記事項】

- すこやかメールマガジンの登録人数：県立生涯学習推進センターや各教育事務所で実施している家庭教育・子育てに関する研修会等で周知を図りましたが、親世代においてはメール等ではなくSNSを利用している割合が増加しており、登録数が伸びませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	3	0	0	0	3	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和5年県民意識調査によると「安心な子育て環境整備」の重要度は17位、満足度は39位となり、ニーズ度は14位となっています。

7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます

(基本方向)

「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を実現するため、地域学校協働活動の充実等により、学校・家庭・地域が連携・協働する仕組みづくりを進めます。

また、子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、放課後子供教室等により、地域の実状に応じた子どもの学びの場づくりを支援します。

さらに、特別支援教育に対する県民理解の醸成や参加促進を図るため、特別支援教育サポーターの養成などにより、障がいに関する正しい理解や「共に学び、共に育つ教育」の推進に向けた啓発活動に取り組みます。

[概要]

- ・ 具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標 (86%)、達成度 C の指標が 1 指標 (14%) でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
14 地域の行事に参加している生徒の割合[中学生]	%	⑩63.7	64.0			教育関連以外のものは非表示としています。		

2 県の取組(具体的推進方策)の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>7指標</p> <p>A 4指標 57%</p> <p>B 2指標 29%</p> <p>C 1指標 14%</p>	<p>具体的推進方策指標 7 指標は、達成度 A、B の指標が 6 指標 (86%)、達成度 C の指標が 1 指標 (14%) でした。</p>

(1) 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
97 コミュニティ・スクール設置市町村数	市町村	4	33	33	A
98 地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	%	小 79.0	84.0	100.0	A
99 割合		中 60.0	67.0	97.3	A
100 教育振興運動として計画的に取り組まれている地域活動件数【再掲】	件	② 3,411	3,900	3,852	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	122	98	48	0	0	50	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 豊かな体験活動の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
101 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	%	13.0	100	73.1	C
103 県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	%	⑩ 98	98	99	A

【特記事項】

- ・ 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合：県内すべての教室で子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、事業に要する経費補助等に取り組みましたが、指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画の変更がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	121	97	48	0	0	49	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
104 特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	人	236	380	364	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「子どもの育ちと学びに関する学校、家庭、地域の連携」の重要度は30位、満足度は21位となり、ニーズ度は35位となっています。

9 仕事と生活を両立できる環境をつくります

（基本方向）

仕事と生活を両立できる環境をつくるため、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上等の働き方改革や、育児休業・介護休業制度の普及促進等により、男女問わず一人ひとりの事情に対応できる、働きやすい職場づくりを推進します。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 C の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
13 待機児童数[4月1日時点]	人	178	0			教育関連以外のものは非表示としています。		
15 総実労働時間[年間]	時間	1,858.8	1,720.8					
16 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均] <small>※女性の家事時間に対する割合</small>	%	34.2	40.0					

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
4 待機児童数[10月1日時点]	人	681	教育関連以外のものは非表示としています。	—
5 共働き男性の家事時間	分	100		—
6 共働き女性の家事時間	分	292		—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 C の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 働き方改革の取組の推進

(2) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
116 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	73.1	C

【特記事項】

- 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合：県内すべての教室で子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、事業に要する経費補助等に取り組みましたが、指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画の変更がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)					活動内容指標の達成度				成果指標の達成度				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	121	97	48	0	0	49	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) いきいきと働き続けるための健康づくりの推進

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和5年県民意識調査によると「仕事と生活を両立できる環境」の重要度は15位、満足度は43位となり、ニーズ度は8位となっています。

11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます

（基本方向）

急激な社会変化に向き合い、他者と協働しながら、新たな価値を創造することができる児童生徒を育むため「主体的・対話的で深い学び」の推進などにより、これからの社会で活躍するために必要な資質・能力を育成します。

また、児童生徒の「確かな学力」を育むため、諸調査の効果的な活用や情報通信技術（ICT）の活用などにより、児童生徒の実態に応じた授業改善や家庭学習の充実に取り組みます。

さらに、情報化やグローバル化など変容する社会に対応し、岩手の未来を担う人材を育成するため、探究的な学習の推進や進学指導の充実などにより、生徒が希望する進路を実現できる力を育みます。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標4指標は、達成度A、Bの指標が2指標（50%）、達成度Dの指標が2指標（50%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標19指標は、実績値が未確定等の1指標を除き、達成度A、Bの指標が8指標（45%）、達成度C、Dの指標が10指標（55%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
19 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.9	84.9	81.2	D	-	-	-
20		中 ㊦ 77.2	81.2	83.2	A	-	-	-
21 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 80.7	84.7	82.6	D	-	-	-
22		中 ㊦ 80.0	84.0	83.3	B	-	-	-

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合（小学生）：児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ教員研修を、授業改善に関連付ける取組が効果的に進みませんでした。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合（小学生）：授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行う取組を、授業改善に関連付ける取組が十分に進みませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
学力が全国水準未満の児童生徒の割合	%	小 国語 ㊦ 42	46	-
		小 算数 ㊦ 50	52	-
		中 国語 ㊦ 45	40	-
		中 数学 ㊦ 54	56	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度</p> <p>A 5指標 28%</p> <p>B 3指標 17%</p> <p>C 1指標 5%</p> <p>D 9指標 50%</p> <p>18指標</p>	<p>具体的推進方策指標 19 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 A、B の指標が 8 指標（45%）、達成度 C、D の指標が 10 指標（55%）でした。</p>

(1) これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
124	児童生徒が調べたことなどを適切に表現する指導をしている学校の割合	%	小 70	100	95	B
125			中 50	100	96	B
126			高 ー	100	100	A
127	授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合	%	小 ㊸ 85	89	88	C
128			中 ㊸ 83	87	87	A
129			高 ㊸ 54	58	71	A
130	学校の授業が分かる児童生徒の割合	%	小 ㊸ 90	94	89	D
131			中 ㊸ 77	81	79	D
132			高 ㊸ 76	80	77	D
133	幼保小の円滑な連携に取り組んでいる小学校の割合	%	㊸ 59	100	97	B

【特記事項】

- ・ 授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合（小学生）：学習指導要領に定める「資質・能力を育む効果的な指導」ができるよう、教員が授業改善に取り組みましたが、児童生徒が自己評価や相互評価等を通じて、達成感や学習内容について有用感を育むための学校の組織的な授業改善が進みませんでした。
- ・ 学校の授業が分かる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：学習指導要領に定める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教員が授業改善に取り組みましたが、資質・能力を育む効果的な指導として、これまでの 1 単位時間の授業展開から単元や題材等のまとまりで資質・能力を身に付けさせるなど、学校の組織的な取組を通じた授業改善が進みませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	25	24	5	2	0	17	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)	8 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
134	つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 85	89	89	A
135			中 ㊦ 88	92	90	D
136			高 ㊦ 90	94	91	D
137	ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合	%	㊦ 90	100	—	—
138	弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合	%	小 ㊦ 74	82	68	D
139			中 ㊦ 62	70	60	D
140			高 ㊦ 43	51	46	D

【特記事項】

- ・ つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合（中学生・高校生）：中学生及び高校生で学習内容の分からない箇所が解消されていない状況が見られることから、つまずきを積み残さないための対応や、系統的な指導改善である学年・校種を越えた取組が効果的に進みませんでした。
- ・ ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合：ICT機器を活用した効果的な指導の授業実践について研究を引き続き行い、各種研修を通じて研究成果の周知や普及に取り組みましたが、国の調査結果が公表されていないことから、実績値は測定できませんでした。
- ・ 弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：自主的に学習内容を工夫して家庭学習を行う習慣を定着させるための、学習計画の立て方や学習方法を改善させる取組等が効果的に進みませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	203	200	149	1	0	50	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名		単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
141	課題を見つけ解決策を考えていく探究活動に取り組んでいる高校の割合	%	㊦ 82	100	100	A
142	生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合	%	70	80	74	D

【特記事項】

- ・ 生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合：各高等学校が高い目標を掲げ、生徒の進路実現に向けて取り組み、昨年度から8ポイント上昇しましたが、生徒が年度当初に希望していた進路希望を変更したことや個々の生徒の事情により、目標を達成できなかった学校がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	54	45	6	13	0	26	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「子どもの学力向上に向けた教育」の重要度は23位、満足度は24位となり、ニーズ度は26位となっています。



12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが、自他の生命(いのち)を大切に、他者の人権を尊重する心や、良好な人間関係を構築できる協調性を育むため、道徳の指導の充実や教育振興運動と連携した他者との協働活動等により、実践的な道徳教育を進めるとともに、家庭や地域との協働によるボランティア活動や読書活動の充実により、思いやりの心や感動する心を育成します。

また、生涯にわたり心豊かに生活する基盤をつくるため、文化芸術活動等の鑑賞・体験の機会の充実や、文化部活動の活性化により、学校における文化芸術教育を推進します。

さらに、主体的に社会の形成に参画する態度を養うため、主権者教育や消費者教育などの推進により、主権者としての自覚と政治的教養の育成や、自立した消費者として合理的に意思決定できる力などを育成します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 5 指標は、達成度 A の指標が 2 指標（40%）、達成度 D の指標が 3 指標（60%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 18 指標は、達成度 A の指標が 5 指標（28%）、達成度 C、D の指標が 13 指標（72%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
23 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦ 66	70	66	D	-	-	-
24		中 ㊦ 64	68	68	A	-	-	-
25		高 ㊦ 57	61	65	A	-	-	-
26 自己肯定感を持つ児童生徒の割合	%	小 ㊦ 82.3	85.0	77.3	D	-	-	-
27		中 ㊦ 76.9	80.0	78.1	D	-	-	-

【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（小学生）：各学校において、道徳教育や特別活動の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科等や体験活動等と関連を図りながら、教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分進みませんでした。
- ・ 自己肯定感を持つ児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校において、自他の生命の大切さや個性の伸長などの育成に向けて、道徳教育や特別活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動など多様な教育活動と連携を図りながら、自他の良さを認め合い、自分の目標に向けてやり遂げる機会の充実や、児童生徒が多様性を認め合う環境づくりが十分に進みませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
13	人	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>18指標</p> <p>A 5指標 28%</p> <p>C 1指標 5%</p> <p>D 12指標 67%</p>	<p>具体的推進方策指標 18 指標は、達成度 A の指標が 5 指標（28%）、達成度 C、D の指標が 13 指標（72%）でした。</p>

(1) 自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
143 自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合	%	小 ㊦ 85	94	87	D
		中 ㊦ 88	93	88	D
		高 ㊦ 77	81	91	A

【特記事項】

- ・ 自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合（小学生・中学生）：新型コロナウイルス感染症の影響により学校活動が制限され、積極的に児童生徒一人ひとりの良さや可能性を認める取組のほか、他者の価値観を認め尊重し合う人間関係を構築する機会を十分に得られませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	2	2	2	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
							(100%)	(0%)	(0%)	(0%)	(100%)	(0%)	(0%)	(0%)

(2) 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
146 学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦ 79	86	83	D
		中 ㊦ 84	86	82	D
		高 ㊦ 85	86	84	D
149 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 ㊦ 45	50	44	D
		中 ㊦ 42	51	37	D
		高 ㊦ 38	52	32	D

【特記事項】

- ・ 学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：各学校において開催方法を工夫しながら多様な体験活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験学習や集団宿泊体験等の機会が減少しました。
- ・ 「読書がとても楽しい」と感じる児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：関係者の研修会開催や小中学校 1 年次におけるブックリスト配布などにより、読書環境の整備や読書意欲の向上に努めましたが、スマートフォン等の利用時間の増加をはじめ、読書以外の活動の選択肢の増加等により、読書に親しむ機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 学校における文化芸術教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
152	%	小 ㊦ 70	77	71	D
153		中 ㊦ 71	78	68	D
154		高 ㊦ 79	86	69	D

【特記事項】

- ・ 様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)：各学校において文化芸術の鑑賞活動や継承活動等に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術に関する体験活動等の機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	15	13	0	3	0	10	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 主権者教育などによる社会に参画する力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
156	%	小 ㊦ 77	85	83	C
157		中 ㊦ 81	89	90	A
158		高 ㊦ 73	81	86	A
159	%	小 ㊦ 82	86	90	A
160		中 ㊦ 75	87	90	A
161		高 ㊦ 72	90	77	D

【特記事項】

- ・ 話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめている児童生徒の割合(小学生)：各学校において話し合い活動の充実に取り組みましたが、グループでの活動などに制約がある中で、多様な意見を出し合い、認め合う取組が十分に進みませんでした。
- ・ 社会の動きや出来事に関するニュースに関心がある児童生徒の割合(高校生)：各校で現代の諸課題を考察するために新聞記事や身近な地域を題材とした学習を進めましたが、生徒の社会情勢等への関心を十分に喚起するには至りませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	2	2	2	0	0	0	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「人間性豊かな子どもの育成」の重要度は7位、満足度は19位となり、ニーズ度は16位となっています。

13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます

（基本方向）

児童生徒一人ひとりが自らの体力や健康に関心を持ち、運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、学校体育の充実や適切な部活動の推進などにより、体力の向上と健康の保持・増進に取り組みます。

また、生涯を通じて健康で活力ある生活を送ることができるよう、家庭や地域と連携しながら、健全な食生活と健康・命の大切さを教える学校保健活動などにより、児童生徒に基本的な生活習慣や、健康に関する正しい知識などを身に付けさせる取組を推進します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 4 指標は、達成度 B の指標が 3 指標（75%）、達成度 D の指標が 1 指標（25%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 9 指標は、達成度 B の指標が 3 指標（33%）、達成度 D の指標が 6 指標（67%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
28 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	%	小 男子 73.6	75.0	65.0	D	14 位 (2 位)	15 位 (2 位)	下降 (横ばい)
		29 小 女子 82.9	83.0	77.1	B	9 位 (2 位)	9 位 (2 位)	横ばい (横ばい)
		30 中 男子 77.7	78.0	73.6	B	7 位 (1 位)	4 位 (2 位)	上昇 (下降)
		31 中 女子 91.3	91.5	88.4	B	8 位 (1 位)	3 位 (1 位)	上昇 (横ばい)

【特記事項】

- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合（小学生男子）：朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム※増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い教育活動等が制限されたことで体力向上の取組が減少しました。

※ スクリーンタイム：テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等の使用時間

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>9指標 B 3指標 33% D 6指標 67%</p>	<p>具体的推進方策指標 9 指標は、達成度 B の指標が 3 指標（33%）、達成度 D の指標が 6 指標（67%）でした。</p>

(1) 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
162 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合	%	⑩ 89	89	88	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	5	4	2	0	0	2	1	0	1	3	0	1	0	
						(50%)	(25%)	(0%)	(25%)	(75%)	(0%)	(25%)	(0%)	

(2) 適切な部活動体制の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
163 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合	%	中 80.2	100	85.6	D
164		高 -	100	92.9	B

【特記事項】

- 部活動の活動方針について、学校、保護者、外部指導者等が、共通理解を図る部活動連絡会を開催している学校の割合(中学生):日頃から一定の共通理解を図る取組が行われていることから、部活動連絡会を開催しない学校がありました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	172	137	14	15	0	108	6	0	1	0	4	1	1	0
							(86%)	(0%)	(14%)	(0%)	(66%)	(17%)	(17%)	(0%)

(3) 健康教育の充実

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
165 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合	%	小 ⑩ 88.1	91	85.4	D
166		中 ⑩ 86.2	89	84.4	D
167	%	小 ⑩ 89	100	87	D
168		中 ⑩ 85	100	86	D
169		高 ⑩ 83	100	86	D
170 喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合	%	73.7	100	91.6	B

【特記事項】

- 「定期健康診断」の肥満度が正常である児童生徒の割合(小学生・中学生):運動習慣、食習慣、生活習慣の形成による健康の保持・増進に向けて取り組みましたが、朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による運動時間の減少により、肥満傾向児の割合が増加しました。
- ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生):情報モラルに関する児童生徒向け指導資料の定期配信(月1回)や、児童生徒の主体的な取組事例を紹介するなど、情報モラル教育の充実に取り組みましたが、全ての児童生徒がルールの意味を理解し守ることが大切であるという認識を持たせるまでには至りませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	8	7	1	0	0	6	4 (66%)	1 (17%)	0 (0%)	1 (17%)	5 (83%)	0 (0%)	1 (17%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「子どもの体力向上や心身の健康保持」の重要度は25位、満足度は15位となり、ニーズ度は32位となっています。

14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます

（基本方向）

特別な支援を必要とする児童生徒一人ひとりの自立や社会参加を目指し、切れ目のない支援が行われるよう、「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用などにより、就学前から卒業後までの一貫した支援を充実します。

また、全ての児童生徒が地域の学校で共に学ぶことができるよう、通級による指導や特別支援学級での指導の充実などにより、一人ひとりの教育ニーズに対応します。

さらに、特別支援教育の指導・支援体制の充実を図るため、全ての学校を対象とした研修の充実などにより、教職員の専門性の向上を図ります。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 B の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 8 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
32 特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	—	68.0	66.0	B	—	—	—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標の達成度は、A 6 指標（75%）、B 2 指標（25%）の 8 指標です。</p>	<p>具体的推進方策指標 8 指標は、達成度 A、B の指標が 8 指標（100%）でした。</p>

(1) 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実

◆具体的推進方策指標の状況

	指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
171	「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	—	100	100	A
172	「特別支援学校と企業との連携協議会」に参加した企業数	社	70	95	114	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	113	111	0	10	0	101	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 特別支援教育の多様なニーズへの対応

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
173 通級による指導に係る研修を受講した教員の割合	%	90	100	100	A
174 特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、看護師による医療的ケアを受けた割合	%	⑩ 100	100	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	1,200	1,197	292	382	400	123	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
175 特別支援教育サポーターの登録者数	人	236	380	364	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 教職員の専門性の向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
176	人	小一	316	345	A
177		中一	164	182	A
178		高一	67	66	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	1	1	0	0	0	1	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「全ての子どもが学べる環境」の重要度は20位、満足度は27位となり、ニーズ度は22位となっています。



15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります

（基本方向）

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「岩手県いじめ防止等のための基本的な方針」に基づくいじめ防止対策や、組織的な指導体制の充実により、いじめ事案への適切な対応に取り組みます。

また、不登校などの未然防止、早期発見・適切な対応を推進するため、教育相談体制の一層の充実や関係機関と連携した教育機会の提供等により、児童生徒に寄り添った不登校対策を推進します。

さらに、児童生徒が情報化社会等において健全な生活を送るため、情報モラル教育の推進や保護者への啓発活動などにより、児童生徒が適切な情報活用に関する能力や規範意識を身に付ける取組を推進します。

【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 3 指標は、達成度 A の指標が 2 指標（67%）、達成度 D の指標が 1 指標（33%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 10 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 B の指標が 1 指標（11%）、達成度 C、D の指標が 8 指標（89%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
23	%	小 ㊦66	70	66	D	-	-	-
24		中 ㊦64	68	68	A	-	-	-
25		高 ㊦57	61	65	A	-	-	-

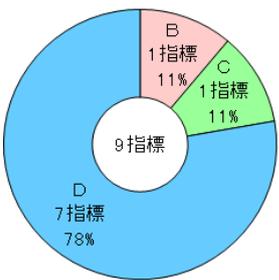
【特記事項】

- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（小学生）：各学校において、道徳教育や特別活動の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科等や体験活動等と関連を図りながら、教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分に進みませんでした。

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
13	人	小 3.4	-	-
14		中 25.9	-	-
15		高 13.1	-	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
 <p>9指標 D 7指標 78% C 1指標 11% B 1指標 11% E 1指標 0%</p>	<p>具体的推進方策指標 10 指標は、実績値が未確定等の 1 指標を除き、達成度 B の指標が 1 指標（11%）、達成度 C、D の指標が 8 指標（89%）でした。</p>

(1) いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
179	%	小 ㊦ 89.1	100	85.6	D
180		中 ㊦ 84.6	100	86.2	D
181	%	—	100	—	—

【特記事項】

- いじめはいけなと思う児童生徒の割合（小学生・中学生）：令和 4 年度におけるいじめ防止対策等の取組の重点目標である『学校いじめ対策組織』を中核とし、組織的にいじめの未然防止・適切な対処に当たる」に基づき取り組みましたが、いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義や各校の学校いじめ基本方針について、児童生徒の理解が深まっていないことから、目標の 100%には届きませんでした。
- 認知したいじめが解消した割合：県教育委員会に「いじめ対応・不登校支援等アドバイザー」を配置し、学校のいじめ等の初期段階における適切な対処に取り組みましたが、調査中であることから実測値を測定できませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	9	5	0	1	0	4	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
182	%	小 ㊦ 88	91	85	D
183		中 ㊦ 88	91	85	D
184		高 ㊦ 87	90	89	C

【特記事項】

- 学校が楽しいと思う（学校に満足している）児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：発達支持的生徒指導^{*}として「魅力ある学校づくり」の推進のほか、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携した学校の教育相談体制の充実、不安や悩みを抱えた児童生徒の支援、24 時間 SOS ダイアル、ふれあい電話等相談窓口の周知等、不登校対策の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による学校行事の縮小など、教育活動に制限が生じました。

※ 発達支持的生徒指導：特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるもの。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	325	318	191	1	0	126	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 児童生徒の健全育成に向けた対策の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	
185	%	小 ㊦ 89	100	87	D	
186		中 ㊦ 85	100	86	D	
187		高 ㊦ 83	100	86	D	
188	%	喫煙飲酒の指導を含めた「薬物乱用防止教室」を開催している小学校の割合【再掲】	73.7	100	91.6	B

【特記事項】

- ・ ルールを守って情報機器(スマートフォン等)を利用することが大切だと思う児童生徒の割合(小学生・中学生・高校生)：情報モラルに関する児童生徒向け指導資料の定期配信(月1回)や、児童生徒の主体的な取組事例を紹介するなど、情報モラル教育の充実に取り組みましたが、全ての児童生徒がルールの意味を理解し守ることが大切であるという認識を持たせるまでには至りませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
1	3	3	0	1	0	2	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「いじめや不登校への適切な対処」の重要度は7位、満足度は48位となり、ニーズ度は6位となっています。

16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます

(基本方向)

児童生徒の学校における安全・安心な環境が確保されるよう、学校施設等の安全点検による事故等の未然防止など学校安全計画の組織的な推進や、学校・家庭・地域・関係機関との連携による通学時の見守りや安全教育、学校施設・設備の計画的な老朽化対策などを推進します。

また、地域とともにある学校、魅力ある学校づくりを進めるため、目標達成型の学校経営や学校・家庭・地域の連携・協働の仕組みであるコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取組などを推進します。

さらに、質の高い教育を行えるよう、多様な評価に基づく採用選考試験や資質向上研修などを進めます。

[概要]

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 14 指標は、達成度 A、B の指標が 8 指標（57%）、達成度 D の指標が 6 指標（43%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 12 指標は、達成度 A、B の指標が 12 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
19	%	小 ㊦ 80.9	84.9	81.2	D	-	-	-
20		中 ㊦ 77.2	81.2	83.2	A	-	-	-
21	%	小 ㊦ 80.7	84.7	82.6	D	-	-	-
22		中 ㊦ 80.0	84.0	83.3	B	-	-	-
23	%	小 ㊦ 66	70	66	D	-	-	-
24		中 ㊦ 64	68	68	A	-	-	-
25		高 ㊦ 57	61	65	A	-	-	-
26	%	小 ㊦ 82.3	85.0	77.3	D	-	-	-
27		中 ㊦ 76.9	80.0	78.1	D	-	-	-
28	%	小 男子 73.6	75.0	65.0	D	14 位 (2 位)	15 位 (2 位)	下降 (横ばい)
29		小 女子 82.9	83.0	77.1	B	9 位 (2 位)	9 位 (2 位)	横ばい (横ばい)
30		中 男子 77.7	78.0	73.6	B	7 位 (1 位)	4 位 (2 位)	上昇 (下降)
31		中 女子 91.3	91.5	88.4	B	8 位 (1 位)	3 位 (1 位)	上昇 (横ばい)
32	%	-	68.0	66.0	B	-	-	-

【特記事項】

- ・ 意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合（小学生）：児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動について学ぶ教員研修を、授業改善に関連付ける取組が効果的に進みませんでした。
- ・ 授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合（小学生）：授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行う取組を、授業改善に関連付ける取組が十分に進みませんでした。
- ・ 人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合（小学生）：各学校において、道徳教育や特別活動の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各教科等や体験活動等と関連を図りながら、教育活動全体を通じて思いやりの心を育む取組が十分に進みませんでした。
- ・ 自己肯定感を持つ児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校において、自他の生命の大切さや個性の伸長などの育成に向けて、道徳教育や特別活動を推進しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験活動など多様な教育活動と連携を図りながら、自他の良さを認め合い、自分の目標に向けてやり遂げる機会の充実や、児童生徒が多様性を認め合う環境づくりが十分に進みませんでした。
- ・ 体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合（小学生男子）：朝食欠食、睡眠不足、スクリーンタイム※増加などの生活習慣の変化のほか、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い教育活動等が制限されたことで体力向上の取組が減少しました。

※ スクリーンタイム：テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機器等の使用時間

【参考指標】

調査項目	単位	現状値等 (H29)	R4	備考
13	人	小 3.4	—	—
14		中 25.9	—	—
15		高 13.1	—	—

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>具体的推進方策指標 12 指標は、達成度 A、B の指標が 12 指標（100%）でした。</p>	

(1) 安心して学べる環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
189 地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合	%	⑦ 75.8	85.0	94.9	A

◆推進方策を構成する事業の状況（事業の詳細は巻末一覧表を参照）

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
3	82	7	6	0	0	1	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 安全で快適な学校施設の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
190 県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数 〔累計〕	施設	③〇 1	3	3	A
191 県立学校の耐震化率	%	98.2	100	100	A
192 県立学校のトイレ洋式化率(洋便器数/総便器数)	%	37.6	45.0	45.8	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
8	1,360	1,005	14	104	620	267	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 目標達成型の学校経営の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
193 コミュニティ・スクール設置市町村数【再掲】	市町村	4	33	33	A
194 学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した 学校の割合	%	③〇 80	100	94	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	2	2	0	0	0	2	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) 魅力ある学校づくりの推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
195 各高校の特色が中学校で十分理解されている割合	%	③〇 80	100	100	A
196 地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り 組んでいる高校の割合	%	③〇 86	100	99	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
5	43	40	16	1	0	23	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

(5) 多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
197	%	小 ③〇 75	100	90	B
198 悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている 児童生徒の割合		中 ③〇 48	100	97	B
199		高 ③〇 81	100	91	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
1	4	4	2	0	0	2	2 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(6) 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
200 教職大学院の現職教員修了者数[累計]	人	8	32	31	B

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
8	258	256	46	1	0	209	8 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和5年県民意識調査によると「子どもが安全・安心に学ぶことができる環境」の重要度は12位、満足度は10位となり、ニーズ度は25位となっています。

18 地域に貢献する人材を育てます

（基本方向）

郷土を愛し、岩手の復興・発展を支える人材を育成するため、「いわての復興教育」などの取組を推進し、東日本大震災津波の教訓等を県内外に発信し、後世に語り継いでいきます。

また、産業を担う人材を育成するため、総合生活力や人生設計力の育成に努め、キャリア教育を充実するとともに、各分野における専門知識や技術の習得・向上を推進します。

さらに、社会が急激に変化し、グローバル化が進展する中、国際的な視野と地域に貢献する視野を持ったグローバル人材を育成するため、海外留学などの機会を充実するとともに、岩手県の歴史・文化の探求や、地域活動への積極的な参加を促進します。

【概要】

○ 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 2 指標は、達成度 D の指標が 2 指標（100%）でした。

- ・ 具体的推進方策指標 9 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（11%）、達成度 C、D の指標が 8 指標（89%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
33 高卒者の県内就職率	%	65.8	84.5	教育関連以外のものは非表示としています。				
34 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	%	小 ㊸86.5	88.0	82.6	D	-	-	-
35 児童生徒の割合		中 ㊸73.2	76.0	73.3	D	-	-	-
36 県内大学等卒業者の県内就職率	%	45.3	51.5					

【特記事項】

- ・ 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学生・中学生）：各学校で教育活動全体を通じてキャリア教育の充実に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた行事が中止や縮小されたことにより、体験を通じて将来の夢や目標を実感する機会が減少しました。

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
<p>9指標 A 1指標 11% C 2指標 22% D 6指標 67%</p>	<p>具体的推進方策指標 9 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（11%）、達成度 C、D の指標が 8 指標（89%）でした。</p>

(1) 「いわての復興教育」の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
204	%	小 ㊦ 53.6	60	58.2	C
205		中 ㊦ 47.5	59	49.6	D
206		高 ㊦ 53.3	64	58.2	D

【特記事項】

- 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：キャリア教育や復興教育の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での体験的な学習の取組に制約があったことで、学習内容と実社会とのつながりを感じる機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	33	29	4	25	0	0	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(2) 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
207	%	小 ㊦ 66	74	71	C
208		中 ㊦ 52	60	54	D
209		高 ㊦ 51	62	43	D

【特記事項】

- 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合（小学生・中学生・高校生）：キャリア教育や復興教育の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での体験的な取組による地域の良さを認識する機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	60	52	10	37	0	5	6 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
210 将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合	%	③〇 55	65	49	D

【特記事項】

- ・ 将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合:各校におけるキャリア教育の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により生徒が体験的な学習を通じてキャリアデザインを行う機会が減少しました。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
4	920	36	5	13	10	8	5 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (80%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)

(4) ものづくり産業人材の育成・確保・定着

(5) 農林水産業の将来を担う人材の育成

(6) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

(7) 情報通信技術(ICT)人材の育成

(8) 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

(9) 岩手と世界をつなぐ人材の育成

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
219 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	中 37.1	50	43	D
220 英語力を有している生徒の割合		高 35.9	50	50	A

【特記事項】

- ・ 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合(中学生):各学校において生徒の英語による言語活動の充実に取り組みましたが、英語の学習意欲を高めるような取組や、学びに向かう力のかん養するための質の高い言語活動が十分に進みませんでした。

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
7	217	216	1	1	0	214	7 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	6 (86%)	1 (14%)	0 (0%)	0 (0%)

(10) 地域産業の国際化に貢献する人材の育成

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「次代を担う人材育成」の重要度は32位、満足度は34位となり、ニーズ度は29位となっています。

31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります

（基本方向）

県民一人ひとりが能力を発揮でき、ライフスタイルに応じた新しい働き方ができる環境に向け、様々な分野における雇用機会の確保や長時間労働の是正などの働き方改革を推進するとともに、企業の収益力の向上等を支援し、正規雇用の拡大や処遇の改善など県内企業の雇用・労働環境の整備を促進します。

また、関係団体・機関が連携し、若者等の県内就業を推進するとともに、U・Iターン希望者のニーズを捉えた取組を推進します。

さらに、岩手の将来を担う若者をはじめ、女性・高齢者・障がい者等のあらゆる人が持てる能力を最大限に発揮することを可能とする職業能力の開発などに取り組みます。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 C の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
48 一人当たり県民所得の水準※1	%	㊸ 88.7	㊹ 90.0					
49 正社員の有効求人倍率	倍	0.84	1.03					
50 総実労働時間[年間][再掲]	時間	1,858.8	1,720.8					
51 完全失業率	%	2.1	1.6					
52 高卒者の県内就職率[再掲]	%	65.8	84.5					

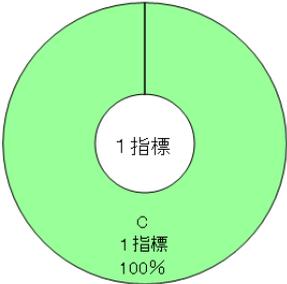
教育関連以外のものは非表示としています。

※1 全国を100とした水準

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
18 非正規職員・従業員率	%	35.7	教育関連以外の	5年ごとの公表
19 雇用人一人当たり雇用人報酬	千円	㊸ 4,037	ものは非表示と	-
20 現金給与総額[5人以上、毎月]	円	277,009	しています。	-

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 C の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 県内就業の促進及び U・I ターンによる人材確保の推進

(2) 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

(3) 安定的な雇用の促進

(4) 雇用・労働環境の整備の促進

(5) 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
331 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	%	13.0	100	73.1	C

【特記事項】

- 放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合：県内すべての教室で子どもたちが放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験活動ができるよう、事業に要する経費補助等に取り組みましたが、指導できる地域人材の不足、参加児童の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による体験活動の中止などにより、事業計画の変更がありました。

(6) 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和 5 年県民意識調査によると「安定した就職環境」の重要度は 11 位、満足度は 55 位となり、ニーズ度は 1 位となっています。

Ⅶ 歴史・文化

41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が 受け継がれる環境をつくり、交流を広げます

（基本方向）

県民の郷土愛を醸成するため、本県出身の偉人や様々な文化財などを活用し、歴史への理解促進に向けた取組を推進するとともに、本県が誇る民俗芸能について、触れる機会の創出や情報発信により、伝統文化への理解を深め、次世代へ受け継ぐ取組を推進します。

また、本県の豊かな歴史資源や本県が誇る伝統文化を生かした地域活性化を図るため、様々な文化財や多種多様な民俗芸能などの伝統文化を活用し、人的・経済的な交流を推進します。

さらに、市町村と連携しながら、文化財の適切な保存・継承を行うとともに、地域の活性化のために活用が図られるよう取り組みます。

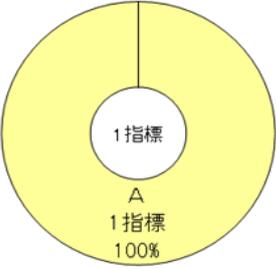
【概要】

- 政策項目に関連するいわて幸福関連指標 1 指標は、達成度 B の指標が 1 指標（100%）でした。
- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
62 世界遺産等の来訪者数	千人	927	950	教育関連以外のものは非表示としています。				
63 国、県指定文化財件数	件	㊿ 565	581	579	B	31位 (3位)	31位 (3位)	横ばい (横ばい)
64 民俗芸能ネットワーク加盟団体数	団体	396	396					

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) 民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信

(2) 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

(3) 様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信

(4) 様々な文化財などを活用した交流の推進

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
450 文化財保存活用地域計画の策定に取り組んでいる市町村数[累計]	市町村	② 0	4	4	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)		決算額の財源内訳				活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	国庫	その他	県債	一般	A	B	C	D	A	B	C	D
							(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
7	631	609	260	1	0	348	5 (83%)	1 (17%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- ・ 令和5年県民意識調査によると「郷土の歴史や伝統文化が受け継がれる環境」の重要度は42位、満足度は12位となり、ニーズ度は46位となっています。

46 安全・安心を支える社会資本を整備します

(基本方向)

自然災害から県民の暮らしを守るため、河川改修や津波防災施設、砂防施設、農業水利施設、治山施設、漁港施設の整備などのハード対策と、災害関連情報の充実強化などのソフト施策を効果的に組み合わせた、防災・減災対策を推進します。

また、災害に強い道路ネットワークを構築するため、幹線道路の整備や緊急輸送道路等の防災機能の強化などを推進します。

さらに、日常生活を支える安全・安心な道づくりのため、救急搬送ルート of 整備や地域の実情に応じた道路整備、冬期間の道路交通確保対策、通学路等への歩道の整備などを推進します。

これらの社会資本の整備に当たっては、必要な事業量を計画的に確保しながら取組を推進します。

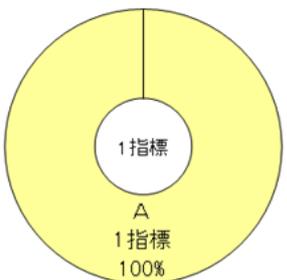
[概要]

- ・ 具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
73 河川整備率	%	48.9	51.3			教育関連以外のものは非表示としています。		
74 緊急輸送道路の整備延長	km	—	38.1					

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 1 指標は、達成度 A の指標が 1 指標（100%）でした。</p>

(1) ハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策

(2) 公共建築物等の耐震化による安全の確保

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
500 県立学校の耐震化率【再掲】	%	98.2	100	100	A

◆推進方策を構成する事業の状況(事業の詳細は巻末一覧表を参照)

事業数	投入コスト(百万円)						活動内容指標の達成度				成果指標の達成度			
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				A	B	C	D	A	B	C	D
			国庫	その他	県債	一般								
2	704	662	0	85	488	89	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

(3) 災害に強い道路ネットワークの構築

(4) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

(5) 自然災害に強い農山漁村づくりの推進【再掲】

3 その他(指標以外の状況など)

◎県民意識調査の結果

- 令和5年県民意識調査によると「災害に強く安心して暮らせる県土」の重要度は5位、満足度は20位となり、ニーズ度は10位となっています。

49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくりま

（基本方向）

男女が共に生きやすく、多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境づくりを進めます。

また、若者・女性、高齢者、障がい者の活躍に向け、若者の主体的な活動の活性化につながる取組や女性のライフステージ、ライフスタイルに対応した活躍の支援、高齢者の豊かな経験・知識などを生かした社会貢献活動への参加、障がい者が住み慣れた地域で活躍できるような社会参加に向けた取組などを促進します。

【概要】

- ・ 具体的推進方策指標3指標は、達成度A、Bの指標が3指標（100%）でした。

1 いわて幸福関連指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度	参考)全国順位(東北順位)		
						H29	R4	比較
77 労働者総数に占める女性の割合	%	38.1	40.7					
78 障がい者の雇用率	%	2.16	2.30					
79 高齢者のボランティア活動比率	%	—	28.9					
80 共働き世帯の男性の家事時間割合[週平均]※【再掲】	%	34.2	40.0					
81 審議会等委員に占める女性の割合	%	⑩37.4	40.0					

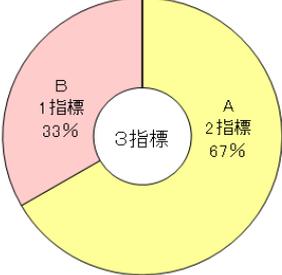
教育関連以外のものは非表示としています。

※ 女性の家事時間に対する割合

【参考指標】

調査項目	単位	現状値 (H29)	R4	備考
30 管理職に占める女性の割合	%	12.3	教育関連以外のものは非表示としています。	5年ごとの調査

2 県の取組（具体的推進方策）の状況

具体的推進方策指標の達成度	説明
	<p>具体的推進方策指標 3 指標は、達成度 A、B の指標が 3 指標（100%）でした。</p>

(1) 多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備

◆具体的推進方策指標の状況

指標名	単位	現状値 (H29)	計画目標値 (R4)	実績値 (R4)	達成度
538	%	小 ㊸ 39	100	100	A
539		中 ㊸ 21	100	98	B
540		高 ㊸ 81	100	100	A

(2) 若者の活躍支援

(3) 女性の活躍支援

(4) 高齢者の社会貢献活動の促進

(5) 障がい者の社会参加の促進・職業能力開発の支援

3 その他（指標以外の状況など）

◎県民意識調査の結果

- 令和 5 年県民意識調査によると「個性と能力を發揮できる社会の実現」の重要度は 29 位、満足度は 44 位となり、ニーズ度は 17 位となっています。

参考資料 1 令和4年度「教育委員会事務局点検評価報告書」指標一覧表

達成度：平成29年度現状値を基準とし、令和4年度実績値が、令和4年度目標値に対し、どのくらい達成できたかを示す割合

- 【A】達成……………達成度の割合が100%以上
- 【B】概ね達成……………達成度の割合が80%以上100%未満
- 【C】やや遅れ……………達成度の割合が60%以上80%未満
- 【D】遅れ……………達成度の割合が60%未満

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4		
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福11	No.5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります		%	40.2	44.2	36.9	D
推進62	生涯学習の推進を支える指導者・ボランティアの人材登録者数		人	792	910	911	A
推進63	生涯学習情報提供システム（ホームページ）利用件数		件	63,542	120,000	68,489	D
推進64	①多様な学習機会の充実 「読書がととても楽しい」と感じる児童生徒の割合		%	小 ③045	50	44	D
推進65			%	中 ③042	51	37	D
推進66			%	高 ③038	52	32	D
推進67	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】		%	13.0	100	73.1	C
推進68	②岩手ならではの学習機会の提供 県立社会教育施設で「岩手」をテーマとした講座の受講者数（オンラインを含む）		人	② 623	1,020	1,046	A
推進69	③学びと活動の循環による地域の活性化		人	792	910	911	A
推進70	教育振興運動として計画的に取り組みられている地域活動件数		件	② 3,411	3,900	3,852	B
推進71	④社会教育の中枢を担う人材の育成 社会教育指導員・地域づくり関係者の資質向上を図る研修会の受講者数		人	79	123	155	A
推進72	⑤多様な学びのニーズに応じた拠点の充実 ◆県立博物館・県立美術館の企画展における観覧者の満足度の割合		%	91	91	92	A
推進73	◆県立青少年の家における利用者の満足度の割合		%	97	97	99	A

指標 No.	政策項目	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標		H29 現状	R 4		
			具体的推進方策指標	単位		目標	実績	達成度
—	No.6 安心して子どもを子育てられる環境をつくります	—	—	—	—	—	—	—
推進83	③子育て家庭への支援	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	—	—	13.0	100	73.1	C
推進95	⑥家庭教育を支える環境づくりの推進	すこやかメモリアルマガジンの登録人数	—	—	1,041	5,000	4,062	C
推進96		子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数	—	—	502	600	892	A
—	No.7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます	—	—	—	—	—	—	—
推進97		コミュニティ・スクール設置市町村数	—	—	4	33	33	A
推進98	①学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり	地域協働の仕組みにより保護者や地域住民が学校の教育活動にボランティアとして参加している学校の割合	—	—	小 79.0	84.0	100.0	A
推進99	②豊かな体験活動の充実	教育振興運動として計画的に取り組みされている地域活動件数【再掲】	—	—	中 60.0	67.0	97.3	A
推進100		放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合	—	—	② 3,411	3,900	3,852	B
推進101		◆県立青少年の家が提供する親子体験活動事業への参加者の満足度の割合	—	—	13.0	100	73.1	C
推進103		特別支援教育サポーターの登録者数【再掲】	—	—	④ 98	98	99	A
推進104			—	—	236	380	364	B
—	No.9 仕事と生活を両立できる環境をつくります	—	—	—	—	—	—	—
推進116	②仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進	放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	—	—	13.0	100	73.1	C

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4		
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標			目標	実績 達成度	
幸福19	No.11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます	<p>意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合</p> <p>授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合</p> <p>◆児童生徒が調べたことなどを適切に表現する指導をしている学校の割合</p> <p>授業内で学習を振り返っている児童生徒の割合</p> <p>学校の授業が分かる児童生徒の割合</p> <p>◆幼保小の円滑な連携に取り組んでいる小学校の割合</p>	%	小 ③ 80.9	84.9	81.2	D
幸福20				中 ③ 77.2	81.2	83.2	A
幸福21				小 ③ 80.7	84.7	82.6	D
幸福22				中 ③ 80.0	84.0	83.3	B
推進124	<p>① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成</p> <p>② 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実</p> <p>③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進</p>	<p>つまずきに対応した授業改善が行われていると感じている児童生徒の割合</p> <p>ICT機器を活用して、効果的な教材研究や授業をすることができる高校教員の割合</p> <p>弱点を克服するための学習や発展的な学習に自ら取り組んでいる児童生徒の割合</p> <p>課題を見つけ解決策を考えていく探究活動に取り組んでいる高校の割合</p> <p>生徒の進路実現に向け、自校で設定した進路目標を達成できた高校の割合</p>	%	小 70	100	95	B
推進125				中 50	100	96	B
推進126				高 ー	100	100	A
推進127				小 ③ 85	89	88	C
推進128				中 ③ 83	87	87	A
推進129				高 ③ 54	58	71	A
推進130				小 ③ 90	94	89	D
推進131				中 ③ 77	81	79	D
推進132				高 ③ 76	80	77	D
推進133				③ 59	100	97	B
推進134				小 ③ 85	89	89	A
推進135				中 ③ 88	92	90	D
推進136				高 ③ 90	94	91	D
推進137	③ 90	100	—	—			
推進138	小 ③ 74	82	68	D			
推進139	中 ③ 62	70	60	D			
推進140	高 ③ 43	51	46	D			
推進141	③ 82	100	100	A			
推進142	70	80	74	D			

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4			
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標			目標	実績	達成度	
幸福23	No.12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ③0 66	70	66	D	
幸福24			%	中 ③0 64	68	68	A	
幸福25			%	高 ③0 57	61	65	A	
幸福26			%	自己肯定感を持つ児童生徒の割合	小 ③0 82.3	85.0	77.3	D
幸福27			%	中 ③0 76.9	80.0	78.1	D	
推進143			%	自他の良さを認め合う学級であると感じている児童生徒の割合	小 ③085	94	87	D
推進144			%	①自他の生命を大切にし、他者の人権を尊重する心の育成	中 ③088	93	88	D
推進145	%	高 ③077	81	91	A			
推進146	②学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成	学校や地域が行う体験活動に参加し、今後も継続して参加したいと思う児童生徒の割合	%	小 ③079	86	83	D	
推進147			%	中 ③084	86	82	D	
推進148			%	高 ③085	86	84	D	
推進149	③学校における文化芸術教育の推進	「読書がととても楽しい」と感じる児童生徒の割合【再掲】	%	小 ③045	50	44	D	
推進150			%	中 ③042	51	37	D	
推進151			%	高 ③038	52	32	D	
推進152	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成	様々な文化芸術に触れ、文化芸術に興味をわいたと感じている児童生徒の割合	%	小 ③070	77	71	D	
推進153			%	中 ③071	78	68	D	
推進154	④主権者教育などによる社会に参画する力の育成	話し合いの場で、少数意見にも耳を傾け、意見をまとめていく児童生徒の割合	%	高 ③079	86	69	D	
推進156			%	小 ③077	85	83	C	
推進157			%	中 ③081	89	90	A	
推進158	社会の動きや出来事に関するニュースに関する児童生徒の割合	社会の動きや出来事に関するニュースに関する児童生徒の割合	%	高 ③073	81	86	A	
推進159			%	小 ③082	86	90	A	
推進160			%	中 ③075	87	90	A	
推進161			%	高 ③072	90	77	D	

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4			
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的な推進方策指標			目標	実績	達成度	
幸福28	No.13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます	①豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実 ②適切な部活動体制の推進 ③健康教育の充実	%	体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合	小男	75.0	65.0	D
幸福29					小女	83.0	77.1	B
幸福30					中男	78.0	73.6	B
幸福31					中女	91.5	88.4	B
推進162					◎	89	88	B
推進163					中	80.2	85.6	D
推進164					高	—	92.9	B
推進165					小	◎88.1	85.4	D
推進166					中	◎86.2	84.4	D
推進167					小	◎89	87	D
推進168	中	◎85	86	D				
推進169	高	◎83	86	D				
推進170			73.7	100	91.6	B		
幸福32	No.14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます	特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合	%	—	68.0	66.0	B	
推進171	①就学前から卒業後までの一貫した支援の充実 ②特別支援教育の多様なニーズへの対応 ③県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進 ④教職員の専門性の向上	「引継ぎシート」を活用し、進学時に円滑な引継ぎを行っている学校の割合	%	—	100	100	A	
推進172		「特別支援学校と企業との連携協議会」に参加した企業数	社	70	95	114	A	
推進173		◆通級による指導に係る研修を受講した教員の割合	%	90	100	100	A	
推進174		◆特別支援学校における医療的ケアが必要な児童生徒が、看護師による医療的ケアを受けた割合	%	◎100	100	100	A	
推進175		特別支援教育サポーターの登録者数	人	236	380	364	B	
推進176		特別支援学校の授業研究会・研修会に参加した教員数（累計）	人	小—	316	345	A	
推進177			人	中—	164	182	A	
推進178			人	高—	67	66	B	

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4		
	具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福23	<p>№15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります</p> <p>①いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処</p> <p>②児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進</p> <p>③児童生徒の健全育成に向けた対策の推進</p>	人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合	%	小 ㊦66	70	66	D
幸福24			%	中 ㊦64	68	68	A
幸福25			%	高 ㊦57	61	65	A
推進179			%	小 ㊦89.1	100	85.6	D
推進180			%	中 ㊦84.6	100	86.2	D
推進181			%	-	100	-	-
推進182			%	小 ㊦88	91	85	D
推進183			%	中 ㊦88	91	85	D
推進184			%	高 ㊦87	90	89	C
推進185			%	小 ㊦89	100	87	D
推進186			%	中 ㊦85	100	86	D
推進187			%	高 ㊦83	100	86	D
推進188			%	73.7	100	91.6	B

指標 No.	政策項目		単位	H29 現状	R 4		
	具体的な推進方策	具体的な推進方策指標			目標	実績	達成度
幸福19	<p>いわれて幸福関連指標</p> <p>具体的推進方策指標</p> <p>意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合</p> <p>授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合</p> <p>人が困っているときは、進んで助けようと思う児童生徒の割合</p> <p>自己肯定感を持つ児童生徒の割合</p> <p>体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合</p> <p>特別支援学校が適切な指導・支援を行っていると感じる保護者の割合</p> <p>①安心して学べる環境の整備</p> <p>②安全で快適な学校施設の整備</p> <p>③目標達成型の学校経営の推進</p> <p>④魅力ある学校づくりの推進</p> <p>⑤多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供</p> <p>⑥教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上</p>	<p>No.16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます</p>	%	小 ㉔ 80.9	84.9	81.2	D
幸福20			%	中 ㉔ 77.2	81.2	83.2	A
幸福21			%	小 ㉔ 80.7	84.7	82.6	D
幸福22			%	中 ㉔ 80.0	84.0	83.3	B
幸福23			%	小 ㉔ 66	70	66	D
幸福24			%	中 ㉔ 64	68	68	A
幸福25			%	高 ㉔ 57	61	65	A
幸福26			%	小 ㉔ 82.3	85.0	77.3	D
幸福27			%	中 ㉔ 76.9	80.0	78.1	D
幸福28			%	小男 73.6	75.0	65.0	D
幸福29			%	◆小女 82.9	83.0	77.1	B
幸福30			%	◆中男 77.7	78.0	73.6	B
幸福31	%	◆中女 91.3	91.5	88.4	B		
幸福32	%	—	68.0	66.0	B		
推進189	%	地域住民などによる見守り活動が行われている学校の割合	㉔ 75.8	85.0	94.9	A	
推進190	施設	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数（累計）	㉔ 1	3	3	A	
推進191	%	◆県立学校の耐震化率	98.2	100	100	A	
推進192	%	県立学校のトイレ洋式化率（洋便器数/総便器数）	37.6	45.0	45.8	A	
推進193	市町村	コミュニティ・スクール設置市町村数【再掲】	4	33	33	A	
推進194	%	◆学校経営計画の目標が概ね達成できたと評価した学校の割合	㉔ 80	100	94	B	
推進195	%	◆各高校の特色が中学校で十分理解されている割合	㉔ 80	100	100	A	
推進196	%	◆地域や産業界等と連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる高校の割合	㉔ 86	100	99	B	
推進197	%	◆悩み相談ができる学校以外の相談窓口を知っている児童生徒の割合	小 ㉔ 75	100	90	B	
推進198	%	中 ㉔ 48	100	97	B		
推進199	%	高 ㉔ 81	100	91	B		
推進200	人	教職大学院の現職教員修了者数（累計）	8	32	31	B	

指標 No.	政策項目 具体的な推進方策	いわて幸福関連指標 具体的推進方策指標	単位	H29 現状	R 4		
					目標	実績 達成度	
幸福34	No.18 地域に貢献する人材を育てます ① 「いわての復興教育」の推進 ② 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進 ③ キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成 ④ 岩手と世界をつなぐ人材の育成	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 自分の住む地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる児童生徒の割合 自分の住む地域が好きだと思っている児童生徒の割合 将来希望する職業(仕事)について考えている高校2年生の割合 中学3年生、高校3年生において求められている英語力を有している生徒の割合	%	小 ㊸ 86.5	88.0	82.6	D
幸福35				中 ㊸ 73.2	76.0	73.3	D
推進204				小 ㊸ 53.6	60	58.2	C
推進205				中 ㊸ 47.5	59	49.6	D
推進206				高 ㊸ 53.3	64	58.2	D
推進207				小 ㊸ 66	74	71	C
推進208				中 ㊸ 52	60	54	D
推進209				高 ㊸ 51	62	43	D
推進210				㊸ 55	65	49	D
推進219				中 37.1	50	43	D
推進220	高 35.9	50	50	A			
—	No.31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります ⑤ 子育てと仕事の両立を図る家庭への支援	—	—	—	—	—	—
推進331				放課後子供教室において指導者を配置して「体験活動」を実施している教室の割合【再掲】	100	73.1	C
幸福63	No.41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます ④ 様々な文化財などを活用した交流の推進	国、県指定文化財件数 文化財保存活用地域計画の策定に取り組んでいる市町村数(累計)	件 市町村	㊸ 565	581	579	B
推進450				㊸ 0	4	4	A
—	No.46 安全・安心を支える社会資本を整備します ② 公共建築物等の耐震化による安全の確保	—	—	—	—	—	—
推進500				◆ 県立学校の耐震化率【再掲】	100	100	A

指標 No.	政策項目	いわて幸福関連指標		単位	H29 現状	R 4	
		具体的な推進方策	具体的推進方策指標			目標	実績
—	No.49 性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくり ます	—	—	—	—	—	—
推進538	①多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備	学校における男女混合名簿の使用率		%	小 ③039	100	100
推進539			%	中 ③021	100	98	B
推進540			%	◆高 ③081	100	100	A

◆：維持することを目標としている指標

◎いわて幸福関連指標※

	指標数	割合
A	3	17%
B	6	33%
C	0	0%
D	9	50%
未確定	0	—
計	18	—

※複数の政策項目に関連しているいわて幸福関連指標の指標数は「1」としていません。

◎具体的推進方策指標

	指標数	割合
A	38	34%
B	19	17%
C	11	10%
D	44	39%
未確定	2	—
計	114	—

2 いわて県民計画(2019~2028)政策推進プラン 事務事業一覧表

事務事業評価一覧表の見方

番号	部局名	区分	コロナ関連	計画関連	事業名	令和4年度						
						最終予算額(千円)	決算額(千円)	国庫	その他	借債	一般	繰越額(千円)
11【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
188	教委			総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】	1,268		0	0	0	1,268	0
189	教委			総	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】	10,556		5,125	18			0
190	教委			総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校教育室】	2,902	2,839	0	30		2,532	0
(273)	教委	再		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	(7,841)	(7,841)	(0)	(0)	(0)	(7,841)	(0)
191	教委				指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール事業費)【学校教育室】	1,831	1,830	0	1,830	0	0	0
② 講演会やICTの活用等による児童生徒の学びに資する授業改善の推進と家庭学習の充実												
192	教委	コ		総	県立学校ICT活用推進事業費【教育企画室】	141,045	141,044	141,044				0
193	教委	コ		総	いわて学びの改革研究推進事業費【教育企画室・情報化】	32,004	29,449	0	0	0	29,449	0
194	教委			総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	9,775	9,691	0	0	0	9,691	0
195	教委			総	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】		1,424	1,424	0	0	0	0
196	教委			総	市町村学校教育ICT活用促進事業費【教育企画室・情報化】			6,682	474	0	10,261	0

■コロナ関連
新型コロナウイルス感染症関連の事業には「コ」を表示しています。

■区分
主掲事業の再掲となる事業には「再」を表示しています。

■事務事業評価一覧表
令和4年度に実施した政策的な事務事業について「予算・決算額」、「達成度」について取りまとめた表です。
10の政策ごとの事業数を記載しています。

■政策項目
50の政策項目名を記載しています。

■具体的な推進方策
県が主体となって取り組む「具体的な推進方策」を記載しています。

■復興推進プラン・総合戦略関連
復興推進プランに掲げられる事業について「復」を、岩手県ふるさと振興総合戦略に掲げられる事業について「総」を表示しています。

■令和4年度(千円)
令和4年度の最終予算額、決算額、翌年度への繰越額を記載しています。

■指標結果

- 政策推進プランを構成する事業については、「活動内容指標」及び「成果指標」の令和4年度の実績値及び達成度を表しています。
- 達成度の判定

達成度	目標達成率	達成率の算出方法
A	100%以上	<通常の指標、維持指標の場合> 達成率=実績値/目標値×100
B	80%以上100%未満	<マイナス指標の場合> 達成率=目標値/実績値×100
C	60%以上80%未満	
D	60%未満	

- 「-」は、実績が未確定等により判定できないものです。

活動内容指標	指標名	単位	令和4年度			成果指標	指標名	単位	令和4年度		
			計画値	実績値	達成度				目標値	実績値	達成度
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A		
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼小接続研修会の参加人数	人	150	150	A		
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	33	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	100	100	A		
実施する研修の回数	回	14	13	B	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A		
英検I/A実施学校の割合	%	100	100	A	英検I/Aの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A		
-	-	-	-	-	英検I/Aの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ高等学校の割合	%	100	100	A		
イーハートブ・キャンプの開催回数	回	4	4	A	イーハートブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変化が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A		
非常勤事務職員配置人数	人	2	2	A	SSH事業を活用した高等学校数	校	2	2	A		
大型提示装置整備校数	校	-	-	-	県立学校における大型提示装置整備率	%	-	-	-		
-	-	-	-	-	県立学校特別教室におけるICT機器を活用できるネットワーク整備率	%	100	100	A		
研究指定校数	校	7	7	A	-	-	-	-	-		
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	-	-	-	-	-		
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A		
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	6	6	A		
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	岩手県GIGAスクール運営支援センター参加市町村数	-	1	1	A		

【 I 健康・余暇】5事業（再掲6事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
4 幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます												
① 県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実												
(125)	教委	再	□	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(341,974)	(337,445)	(7,270)	(11,623)	(0)	(318,552)	(0)
(126)	教委	再	□	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(440,408)	(436,224)	(14,836)	(43,857)	(0)	(377,531)	(0)
④ ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実												
115	教委			総	地域部活動推進実践研究事業費【保健体育課】	5,518	2,560	2,560	0	0	0	0
5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります												
① 多様な学習機会の充実												
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(120,102)	(96,464)	(47,467)	(0)	(0)	(48,997)	(0)
123	教委			総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費) 【生涯学習文化財課】	192	175	0	0	0	175	0
② 岩手ならではの学習機会の提供												
(125)	教委	再	□	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(341,974)	(337,445)	(7,270)	(11,623)	(0)	(318,552)	(0)
(126)	教委	再	□	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(440,408)	(436,224)	(14,836)	(43,857)	(0)	(377,531)	(0)
③ 学びと活動の循環による地域の活性化												
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(120,102)	(96,464)	(47,467)	(0)	(0)	(48,997)	(0)
124	教委			総	社会教育団体活動費補助【生涯学習文化財課】	1,570	1,570	0	0	0	1,570	0
④ 社会教育の中核を担う人材の育成												
⑤ 多様な学びのニーズに応じた拠点の充実												
125	教委		□	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	341,974	337,445	7,270	11,623	0	318,552	0
126	教委		□	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	440,408	436,224	14,836	43,857	0	377,531	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	4	A	博物館入館者数	人	47,500	31,617	C
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	44	B	美術館入館者数	人	55,000	54,189	B
検討(運営)会議の開催	回	3	6	A	実践研究対象部活動数	部	6	7	A
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	78.4	B
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	4	A	博物館入館者数	人	47,500	31,617	C
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	44	B	美術館入館者数	人	55,000	54,189	B
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A
社会教育団体への補助件数	件	10	10	A	-	-	-	-	-
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	4	A	博物館入館者数	人	47,500	31,617	C
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	44	B	美術館入館者数	人	55,000	54,189	B

【Ⅱ 家族・子育て】16事業（再掲4事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります												
③ 子育て家庭への支援												
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(120,102)	(96,464)	(47,467)	(0)	(0)	(48,997)	(0)
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備												
164	教委			復・総	いわての学び希望基金奨学金給付事業費【教育企画室】	196,726	195,670	0	193,208	0	2,462	0
165	教委			復・総	いわての学び希望基金大学等進学支援一時金給付事業費【教育企画室】	53,708	51,908	0	51,908	0	0	0
166	教委			復・総	被災児童生徒就学援助事業費補助【教育企画室】	75,985	66,133	66,133	0	0	0	0
167	教委			復・総	被災児童生徒特別支援教育就学奨励事業費補助【教育企画室】	48	0	0	0	0	0	0
168	教委			復・総	高校奨学事業費補助【教育企画室】	26,294	25,801	0	13,490	0	12,311	0
169	教委			総	定時制通信教育運営費【教育企画室】	42	19	0	0	0	19	0
170	教委			総	定時制、通信制修学資金貸付金【教育企画室】	84	42	0	0	0	42	0
171	教委			復・総	いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業費【学校教育室】	52,425	48,596	0	48,596	0	0	0
172	教委			総	公立高等学校等就学支援金交付事業費【教育企画室】	2,282,363	2,281,043	2,281,011	32	0	0	0
173	教委			総	奨学のための給付金支給事業費【教育企画室】	309,803	306,411	102,135	0	0	204,276	0
174	教委			総	学び直しへの支援事業費【教育企画室】	240	240	240	0	0	0	0
175	教委			総	専攻科等修学支援事業費【教育企画室】	520	520	260	0	0	260	0
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進												
180	教委			総	家庭教育推進費(家庭教育子育て支援推進事業費)【生涯学習文化財課】	2,918	2,886	0	0	0	2,886	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A
-	-	-	-	-	「いわての学び希望基金」を原資とする奨学金の給付率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	大学等進学支援一時金の給付率	%	100	100	A
就学援助事業実施市町村に対する補助	回	1	1	A	就学援助事業費の市町村への補助率	%	100	100	A
特別支援教育就学奨励事業実施市町村に対する補助	回	1	-	-	特別支援教育就学奨励事業費の補助率	%	100	-	-
(公財)岩手育英奨学会に対する補助	法人	1	1	A	申請対象者への貸与率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒への貸与割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	教科書購入費等給付金の給付率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	申請対象者への給付率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒の認定割合	%	100	100	A
子育て電話相談、メール相談窓口の開設日数	日	365	365	A	子育て相談ニーズへの対応件数	件	800	1,250	A

【Ⅱ 家族・子育て】16事業（再掲4事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					繰越額 (千円)
								国庫	その他	県債	一般	
7 地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます												
① 学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり												
181	教委			総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	281	260	0	0	0	260	0
182	教委			総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】	1,240	785	0	0	0	785	0
183	教委			総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	120,102	96,464	47,467	0	0	48,997	0
② 豊かな体験活動の充実												
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(120,102)	(96,464)	(47,467)	(0)	(0)	(48,997)	(0)
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(222)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推進プラン実践事業費)【学校教育室】	(444)	(346)	(0)	(0)	(0)	(346)	(0)
9 仕事と生活を両立できる環境をつくります												
② 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進												
(183)	教委	再		総	学校・家庭・地域の連携協力推進事業費補助【生涯学習文化財課】	(120,102)	(96,464)	(47,467)	(0)	(0)	(48,997)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	715	A
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	35	36	A
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	研修会参加人数	人	1,800	1,800	A
補助市町村数	市町村	28	28	A	放課後の公的な居場所がある小学校区の割合	%	97.3	97.9	A
放課後子どもプラン指導者合同研修会開催回数	回	3	3	A	放課後子どもプラン指導者合同研修会の受講者数	人	300	387	A
地域学校協働活動関連研修会開催数	回	8	8	A	地域学校協働活動関連研修会の受講者数	人	180	272	A

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます												
① これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成												
188	教委			総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】	1,268	1,205	0	0	0	1,205	0
189	教委			総	いわて幼児教育センター運営費【学校教育室】	10,556	10,269	5,125	18	0	5,126	0
190	教委			総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校教育室】	2,902	2,839	0	307	0	2,532	0
(273)	教委	再		総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	(7,841)	(7,841)	(0)	(0)	(0)	(7,841)	(0)
191	教委			総	指導運営費(スーパーサイエンスハイスクール支援事業費)【学校教育室】	1,831	1,830	0	1,830	0	0	0
② 諸調査やICTの活用等による児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実												
192	教委		コ	総	県立学校ICT機器整備事業費【教育企画室】	141,045	141,044	141,044	0	0	0	0
193	教委		コ	総	いわて学びの改革研究・普及事業費【教育企画室・情報化】	32,004	29,449	0	0	0	29,449	0
194	教委			総	確かな学力育成プラン推進費【学校教育室】	9,775	9,691	0	0	0	9,691	0
195	教委			総	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】	1,630	1,424	1,424	0	0	0	0
196	教委		コ	総	市町村学校教育ICT活用促進事業費【教育企画室・情報化】	17,599	17,417	6,682	474	0	10,261	0
③ 社会ニーズに対応した学習内容の充実などによる生徒の進路実現の推進												
197	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(いわて進学支援ネットワーク事業費)【学校教育室】	12,245	11,696	0	0	0	11,696	0
198	教委			総	いわて進学支援ネットワーク事業費(探究プログラム事業費)【学校教育室】	13,950	9,245	0	0	0	9,245	0
199	教委			総	指導運営費(原子力・エネルギー教育支援事業費)【学校教育室】	463	450	450	0	0	0	0
200	教委			復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	14,420	12,400	0	12,400	0	0	0
(241)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,574)	(10,618)	(5,308)	(0)	(0)	(5,310)	(0)
12 【徳育】児童生徒の豊かな人間性と社会性を育みます												
① 自他の生命を大切に、他者の人権を尊重する心の育成												
201	教委			総	指導運営費(人権教育研究推進事業費)【学校教育室】	300	221	221	0	0	0	0
202	教委			総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	1,138	1,056	1,056	0	0	0	0
② 学校・家庭・地域が連携した体験活動の推進などを通じた豊かな心の育成												
(123)	教委	再		総	生涯学習推進費(子どもの読書活動推進事業費)【生涯学習文化財課】	(192)	(175)	(0)	(0)	(0)	(175)	(0)
203	教委			総	教職員人事管理費(学校図書館利用促進事業費)【教職員課】	567	567	0	0	0	567	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加教員数	人	8	8	A
幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修会の開催回数	回	7	7	A	幼小接続研修会の参加人数	人	150	150	A
就学前教育に係る市町村への訪問支援回数	回	33	33	A	いわて幼児教育センターの訪問支援を受けた人数	人	100	100	A
実施する研修の回数	回	14	13	B	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ中学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ高等学校の割合	%	100	100	A
イーハトーブ・キャンプの開催回数	回	4	4	A	イーハトーブキャンプ後、外国語や外国語活動において肯定的な変容が見られた児童生徒の割合	%	80	80	A
非常勤事務職員配置人数	人	2	2	A	SSH事業を活用した高等学校数	校	2	2	A
-	-	-	-	-	県立学校特別教室におけるICT機器を活用できるネットワーク整備率	%	100	100	A
研究指定校数	校	7	7	A	-	-	-	-	-
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	-	-	-	-	-
小中学校における調査の実施	%	100	100	A	調査結果を活用した指導改善に取り組んだ学校の割合	%	100	100	A
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	6	6	A
岩手県学校教育ICT推進協議会の開催回数	回	3	3	A	岩手県GIGAスクール運営支援センター参加市町村数	-	1	1	A
合同事業の講座数	講座	7	7	A	受講生の講座満足度	%	97	97	A
理数教科に関する探究的な学習を実施した学校数	校	8	9	A	事業目的の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
指導力向上研修回数	回	2	2	A	指導力向上研修を受講した教員数	人	60	60	A
進学支援事業実施高校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施高校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	98	B
-	-	-	-	-	協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	60.9	61.9	A
人権教育研究指定校数	校	1	1	A	人権教育リーフレット配布数	部	1,200	1,200	A
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	130	A
読書ボランティア研修会の開催回数	回	7	7	A	小学校における読書ボランティア活用割合	%	88.0	78.4	B
司書教諭講習の受講者数	人	10	10	A	司書教諭資格の取得割合	%	100	90	B

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
③ 学校における文化芸術教育の推進												
205	教委			総	高等学校文化活動支援事業費【学校教育室】	9,000	9,000	0	0	0	9,000	0
206	教委			総	岩手県中学校文化連盟補助【学校教育室】	1,400	1,400	0	0	0	1,400	0
207	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地児童生徒文化活動支援費補助【学校教育室】	4,153	2,259	0	2,259	0	0	0
④ 主権者教育などによる社会に参画する力の育成												
(202)	教委	再		総	指導運営費(道徳教育推進事業費)【学校教育室】	(1,138)	(1,056)	(1,056)	(0)	(0)	(0)	(0)
13 【体育】児童生徒の健やかな体を育みます												
① 豊かなスポーツライフに向けた学校体育の充実												
208	教委			総	指導運営費(武道等指導充実・資質向上支援事業費)【保健体育課】	1,988	1,822	1,822	0	0	0	0
209	教委			総	60プラスプロジェクト推進事業【保健体育課】	2,045	1,691	0	0	0	1,691	0
② 適切な部活動体制の推進												
210	教委			総	教職員人事管理費(部活動指導員配置事業費)【保健体育課】	51,786	41,995	10,485	0	0	31,510	0
211	教委			復・総	いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援事業費(いわての学び希望基金被災地生徒運動部活動支援費補助)【保健体育課】	29,342	14,897	0	14,897	0	0	0
212	教委			総	岩手県高等学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	58,321	53,301	0	0	0	53,301	0
213	教委			総	岩手県中学校体育連盟強化事業費補助【保健体育課】	20,757	18,145	0	0	0	18,145	0
214	教委			総	中学生スポーツ・文化活動調査事業費【保健体育課】	758	228	0	0	0	228	0
(115)	教委	再		総	地域部活動推進実践研究事業費【保健体育課】	(5,518)	(2,560)	(2,560)	(0)	(0)	(0)	(0)
215	教委			総	全国中学校体育大会推進事業【保健体育課】	5,000	5,000	1,000	0	0	4,000	0
③ 健康教育の充実												
216	教委			総	指導運営費(がん教育総合支援事業費)【保健体育課】	439	438	438	0	0	0	0
217	教委			総	夜間定時制高等学校給食費【保健体育課】	15	0	0	0	0	0	0
218	教委			復・総	児童生徒放射線対策支援事業費【保健体育課】	1,502	1,211	0	0	0	1,211	0
(209)	教委	再		総	60プラスプロジェクト推進事業【保健体育課】	(2,045)	(1,691)	(0)	(0)	(0)	(1,691)	(0)
219	教委			総	全国学校保健・安全研究大会負担金【保健体育課】	3,000	3,000	0	0	0	3,000	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
セミナーサポート事業回数	回	18	26	A	全国高総文祭団体入賞数	団体	2	5	A
-	-	-	-	-	全国高総文祭個人入賞者数	人	2	2	A
県中総文祭実施回数	回	1	1	A	全国中文祭派遣団体数	団体	1	1	A
-	-	-	-	-	全国中文祭派遣個人数	人	25	25	A
文化活動支援補助団体数	団体	3	3	A	中文祭参加補助者数	人	32	32	A
-	-	-	-	-	高文祭参加補助者数	人	99	99	A
道徳の指導力向上に関する研修会の回数	回	5	5	A	道徳の指導力向上に関する研修会への参加教員数	人	130	130	A
派遣要請校数に対する派遣実施校の割合	%	100	100	A	教員にとって指導の参考となる内容であったと回答した学校の割合	%	100	100	A
運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の回数	回	1	1	A	運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の校数	校	14	15	A
新チャレンジカードの配布	校	318	302	B	新チャレンジカードを活用している学校の割合	%	100	78	C
ICTを活用した保健管理等に関するWGの開催回数	回	5	2	D	ICTを活用した保健管理等に関する研究案件数	件	2	2	A
県立学校(県立中学校を含む)への部活動指導員配置校数	校	64	45	C	教員の負担軽減が図られたと回答した学校の割合	%	100	100	A
大会出場補助申請者数に対する補助者数の割合	%	100	100	A	-	-	-	-	-
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	32	34	A
申請対象団体への補助率	%	100	100	A	全国大会等派遣、強化事業実施の競技数	競技	19	16	B
岩手県中学生スポーツ・文化活動セミナーの開催回数	回	1	1	A	自主的・自発的な参加による活動及び参加を義務付けしない活動により行われる部活動としている学校の割合	%	100	100	A
検討(運営)会議の開催	回	3	6	A	実践研究対象部活動数	部	6	7	A
運営に関する会議の開催回数	回	2	2	A	全国中学校体育大会参加者数	人	650	484	C
岩手県学校保健研修会の開催日数	日	1	1	A	「がん教育指導者向けマニュアル」を授業等に活用している学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	対象生徒への給与割合	%	100	-	-
放射能モニタリング実施校数	校	83	83	A	測定の結果、基準値を超えない割合	%	100	100	A
運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の回数	回	1	1	A	運動習慣、食習慣、生活習慣改善の一体的取り組みを実践している学校表彰の校数	校	14	15	A
新チャレンジカードの配布	校	318	302	B	新チャレンジカードを活用している学校の割合	%	100	78	C
ICTを活用した保健管理等に関するWGの開催回数	回	5	2	D	ICTを活用した保健管理等に関する研究案件数	件	2	2	A
全国学校学校保健・安全研究大会の開催	回	1	1	A	全国学校学校保健・安全研究大会参加人数	人	1,300	1,388	A

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
14 共に学び、共に育つ特別支援教育を進めます												
① 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実												
(247)	教委	再		総	教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	(92,051)	(91,074)	(0)	(314)	(0)	(90,760)	(0)
(248)	教委	再		総	管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費) 【教職員課】	(9,550)	(9,196)	(0)	(31)	(0)	(9,165)	(0)
220	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校キャリア 教育推進事業費)【学校教育室】	10,648	10,445	0	9,938	0	507	0
② 特別支援教育の多様なニーズへの対応												
221	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援教育かがやき プラン推進事業費)【学校教育室】	47,828	47,618	0	146	0	47,472	0
222	教委			総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推 進プラン実践事業費)【学校教育室】	444	346	0	0	0	346	0
223	教委			総	特別支援教育推進事業費(特別支援学校医療的ケ ア体制整備事業費)【学校教育室】	74,910	71,971	23,957	136	0	47,878	0
708	教委			総	施設整備費(特別支援学校整備事業)【教育企画 室】	1,076,421	1,076,416	267,424	381,640	400,000	27,352	0
③ 県民と協働した特別支援教育体制づくりの推進												
(222)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推 進プラン実践事業費)【学校教育室】	(444)	(346)	(0)	(0)	(0)	(346)	(0)
④ 教職員の専門性の向上												
(222)	教委	再		総	特別支援教育推進事業費(いわて特別支援教育推 進プラン実践事業費)【学校教育室】	(444)	(346)	(0)	(0)	(0)	(346)	(0)
15 いじめ問題などに適切に対応し、一人ひとりがお互いを尊重する学校をつくります												
① いじめ防止対策の推進といじめ事案への適切な対処												
(190)	教委	再		総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校教育室】	(2,902)	(2,839)	(0)	(307)	(0)	(2,532)	(0)
224	教委		コ	総	児童生徒健全育成推進費(いじめ問題総合対策事 業費)【学校教育室】	5,245	1,841	0	0	0	1,841	0
② 児童生徒に寄り添った教育相談体制の充実等による、不登校対策の推進												
225	教委		コ	復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールソーシャルワ ーカー(SSW)配置事業費)【学校教育室】	24,113	23,500	13,913	0	0	9,587	0
226	教委			復・総	児童生徒健全育成推進費(スクールカウンセラー等 配置事業費)【学校教育室】	296,315	290,394	176,210	159	0	114,025	0
227	教委			総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイ ヤル事業費)【学校教育室】	3,635	3,547	1,182	0	0	2,365	0
228	教委			総	児童生徒健全育成推進費(魅力ある学校づくり調査 研究事業費)【学校教育室】	801	371	0	371	0	0	0
③ 児童生徒の健全育成に向けた対策の推進												
(190)	教委	再		総	教職員研修費(授業力向上研修費)【学校教育室】	(2,902)	(2,839)	(0)	(307)	(0)	(2,532)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.52	A
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.52	A
企業との連携協議会対象校数	校	5	5	A	現場実習及び企業との連携協議会を実施した対象校の割合	%	100	100	A
職業指導支援員の配置及び企業との連携協議会の設置校数	校	5	5	A	企業での現場実習の実施回数	回	10	10	A
支援員配置人数	人	34	34	A	支援員の配置により成果のあった学校の割合	%	100	100	A
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	研修会参加人数	人	1,800	1,800	A
看護師等研修会の開催	回	1	1	A	看護師等研修会への参加率	%	100	100	A
看護師の配置率	%	100	100	A	◆看護師による医療的ケアの実施割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	県立学校(特別支援学校)の移転整備数	件	1	1	A
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	研修会参加人数	人	1,800	1,800	A
巡回相談をした特別支援学校数	校	15	15	A	◆巡回相談要請への対応率	%	100	100	A
教員研修の場の提供及び合同研修会の開催回数	回	70	70	A	研修会参加人数	人	1,800	1,800	A
実施する研修の回数	回	14	13	B	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A
いじめ問題に関する研修会開催回数	回	13	13	A	研修会へ教員を参加させた学校の割合	%	100	100	A
県いじめ問題対策連絡協議会の開催回数	回	2	2	A	-	-	-	-	-
スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	18	18	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
小学校のスクールカウンセラー配置、対応校数	校	140	138	B	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
中学校のスクールカウンセラー配置校数	校	145	145	A	-	-	-	-	-
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
携帯カードの作成枚数	枚	137,800	137,800	A	-	-	-	-	-
指定中学校区への指導主事訪問回数	回	15	15	A	指定中学校区での関係会議等の開催回数	回	10	10	A
実施する研修の回数	回	14	13	B	研修の成果があったとする受講者の割合	%	100	100	A

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)	国庫	その他	県債	一般	
16 児童生徒が安全に学ぶことができる教育環境の整備や教職員の資質の向上を進めます												
① 安心して学べる環境の整備												
229	教委			総	指導運営費(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費)【保健体育課】	2,419	2,150	1,072	0	0	1,078	0
230	教委			復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	4,724	4,130	4,130	0	0	0	0
709	教委			総	こどもの安心・安全対策費【保健体育課】	73,880	0	0	0	0	0	73,880
② 安全で快適な学校施設の整備												
231	教委				校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	634,039	592,257	0	46,838	460,000	85,419	41,187
232	教委				校舎建設事業費(校舎耐震改築事業費)【教育企画室】	69,828	69,824	0	38,133	28,000	3,691	0
233	教委				理科教育設備整備費【教育企画室】	9,852	9,852	4,851	0	0	5,001	0
234	教委				産業教育設備整備費【教育企画室】	49,643	49,643	9,386	18,774	0	21,483	0
235	教委				部活動設備整備費【教育企画室】	6,525	6,525	0	0	0	6,525	0
236	教委				情報処理教育設備整備費【教育企画室】	130,846	130,846	0	0	0	130,846	0
237	教委				校舎建設事業費(校舎改築事業)【教育企画室】	455,661	142,055	0	0	132,000	10,055	313,606
238	教委				校舎大規模改造事業費(屋内運動場大規模改造事業)【教育企画室】	3,592	3,592	0	0	0	3,592	0
③ 目標達成型の学校経営の推進												
(181)	教委	再		総	いわて地域学校連携促進事業費【生涯学習文化財課】	(281)	(260)	(0)	(0)	(0)	(260)	(0)
(182)	教委	再		総	指導運営費(県立学校コミュニティ・スクール推進事業費)【学校教育室】	(1,240)	(785)	(0)	(0)	(0)	(785)	(0)
④ 魅力ある学校づくりの推進												
239	教委			総	高等学校教育改革推進費(新しい県立高等学校整備計画策定等事業費)【学校教育室】	13,717	13,570	0	20	0	13,550	0
240	教委			総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(ネットワーク共創事業費)【学校教育室】	9,175	8,853	4,426	0	0	4,427	0
241	教委			総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	12,574	10,618	5,308	0	0	5,310	0
242	教委				指導運営費(新時代に対応した高等学校教育改革推進事業)【学校教育室】	5,600	5,342	5,342	0	0	0	0
(195)	教委	再		総	遠隔教育ネットワーク構築事業費【学校教育室】	(1,630)	(1,424)	(1,424)	(0)	(0)	(0)	(0)
⑤ 多様な教育ニーズに対応する教育機会の提供												
(227)	教委	再		総	児童生徒健全育成推進費(24時間いじめ相談ダイヤル事業費)【学校教育室】	(3,635)	(3,547)	(1,182)	(0)	(0)	(2,365)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
スクールガード・リーダー養成講習会の開催	回	2	2	A	講習会参加者数	人	33	56	A
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	35	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	80	A
県立特別支援学校スクールバスの安全装置整備台数	台	-	-	-	県立特別支援学校スクールバスの安全装置整備率	%	-	-	-
-	-	-	-	-	申請のあった市町村への補助率	%	-	-	-
県立学校の長寿命化改良・大規模改造着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	-	-	-
県立学校の普通教室への冷房設備工事着手施設数	施設	-	-	-	県立学校の普通教室への冷房設備工事実施施設数	施設	-	-	-
県立学校の校舎耐震改築工事着工数	施設	-	-	-	県立学校の耐震化率	%	100	100	A
-	-	-	-	-	理科教育設備整備学校数	校	10	11	A
-	-	-	-	-	産業教育設備整備学校数	校	10	10	A
-	-	-	-	-	部活動設備整備学校数	校	16	16	A
-	-	-	-	-	情報処理教育設備整備学校数	校	20	41	A
県立学校の校舎改築着手数	施設	2	2	A	県立学校の校舎改築実施施設数	施設	-	-	-
県立学校の屋内運動場大規模改造着手施設数	施設	2	2	A	県立学校の屋内運動場大規模化改造実施施設数	施設	-	-	-
地域とともにある学校づくり推進フォーラム開催回数	回	6	6	A	地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加者数	人	600	715	A
-	-	-	-	-	コミュニティ・スクール導入校	校	35	36	A
高校の魅力向上に向けた意見交換会の回数	回	9	8	B	高校の魅力向上に向け意見交換を行う地域	地区	2	2	A
-	-	-	-	-	高校の魅力向上に向けた意見交換会参加者数	人	28	32	A
魅力化フォーラムの開催回数	回	1	1	A	高校魅力化の取組を情報発信した高校数	校	63	63	A
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	98	B
-	-	-	-	-	協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	60.9	61.9	A
コンソーシアム会議の開催回数	回	3	3	A	運営指導委員会開催数	回	2	2	A
遠隔教育に向けて取り組んだ県立高校数	校	5	5	A	遠隔教育を実施した科目の延べ数	科目	6	6	A
電話相談窓口の設置・運営	箇所	3	3	A	◆相談希望への対応率	%	100	100	A
携帯カードの作成枚数	枚	137,800	137,800	A	-	-	-	-	-

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
⑥ 教育への情熱と高い志を持つ有為な人材の確保・育成、資質向上												
243	教委				すこやかサポート推進事業費【教職員課】	70,578	70,175	19,918	237	0	50,020	0
244	教委				教職員人事管理費(教職員の健康確保推進事業費)【教職員課】	329	299	0	0	0	299	0
245	教委				教職員費(学校生活サポート推進事業費)【教職員課】	70,198	69,791	19,839	236	0	49,716	0
246	教委				教職員人事管理費(スクールサポートスタッフ配置事業費)【教職員課】	11,815	11,770	2,867	40	0	8,863	0
247	教委				教職員費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	92,051	91,074	0	314	0	90,760	0
248	教委				管理運営費(障がい者雇用校務補助員配置事業費)【教職員課】	9,550	9,196	0	31	0	9,165	0
249	教委			復	教職員人事管理費(被災教職員健康管理支援事業費)【教職員課】	2,859	2,850	2,840	10	0	0	0
250	教委				教職員人事管理費(幼稚園教諭免許取得支援事業費補助)【教職員課】	168	0	0	0	0	0	0
18 地域に貢献する人材を育てます												
① 「いわての復興教育」の推進												
(230)	教委	再		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	(4,724)	(4,130)	(4,130)	(0)	(0)	(0)	(0)
254	教委			復・総	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】	27,473	24,791	0	24,791	0	0	0
② 郷土に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する教育の推進												
(230)	教委	再		復・総	学校安全総合支援事業費(学校安全総合支援事業費)【学校教育室】	(4,724)	(4,130)	(4,130)	(0)	(0)	(0)	(0)
(254)	教委	再		復・総	いわての復興教育推進事業費【学校教育室】	(27,473)	(24,791)	(0)	(24,791)	(0)	(0)	(0)
(241)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,574)	(10,618)	(5,308)	(0)	(0)	(5,310)	(0)
(200)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(14,420)	(12,400)	(0)	(12,400)	(0)	(0)	(0)
③ キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成												
255	教委			総	キャリアアップサポート推進事業費補助【学校教育室】	1,000	768	0	0	0	768	0
(241)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,574)	(10,618)	(5,308)	(0)	(0)	(5,310)	(0)
(200)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(14,420)	(12,400)	(0)	(12,400)	(0)	(0)	(0)
256	教委				産業教育実習船代船建造費【教育企画室】	891,471	11,556	0	0	10,000	1,556	752,248

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
小学校で30人を超える学級を有し、少人数加配のない学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	学習指導面での改善率	%	90	90	A
市町村立小・中・義務教育学校安全衛生管理研修会の開催回数	回	4	4	A	市町村教委の労働安全衛生体制の整備数(学校の多忙化解消を話し合う場(包括的な衛生委員会等)の設置)	市町村	33	33	A
生徒指導面の課題に重点的に取り組む必要がある学校への非常勤講師等配置率	%	100	100	A	生徒指導面での改善率	%	85	81	B
スクールサポートスタッフの配置人数	人	7	7	A	業務支援体制を整備し負担軽減の効果があつた学校の割合	%	100	100	A
校務補助員の配置人数	人	38	38	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.52	A
校務補助員の配置人数	人	4	4	A	障がい者の実雇用率	%	2.5	2.52	A
保健師等による巡回相談(沿岸南部教育事務所管内小中学校)対応校数	校	46	46	A	相談希望への対応率	%	100	100	A
事業の推進に向けた周知(HPによる紹介)回数	回	1	1	A	幼稚園教諭免許状取得率	%	100	-	-
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	35	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	80	A
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
学校防災アドバイザー派遣校数	校	35	35	A	避難訓練や危機管理マニュアルの見直しを行った学校数	校	50	50	A
防災教育研修会の開催回数	回	1	1	A	研修受講者の理解度	%	80	80	A
いわての復興教育実施校の割合	%	100	100	A	取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があつた高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	98	B
-	-	-	-	-	協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	60.9	61.9	A
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の事業を活用して、キャリア教育を行った学校数	校	15	15	A	キャリアアップ講座やキャリアアップ体験活動等の取組のねらいを達成した学校の割合	%	100	100	A
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があつた高校の割合(評価ランクB以上の高校の割合)	%	100	98	B
-	-	-	-	-	協議体(魅力化コンソーシアム)を設置している高校(分校を含む)の割合	%	60.9	61.9	A
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があつた学校の割合(評価ランクB以上の学校割合)	%	100	100	A
実習船の代船建造着手数	隻	1	1	A	実習船の代船建造隻数	隻	-	-	-

【Ⅲ 教育】74事業（再掲27事業を除く）

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度						繰越額 (千円)
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債	一般	
④ ものづくり産業人材の育成・確保・定着												
(200)	教委	再		復・総	県立学校復興担い手育成支援事業費【学校教育室】	(14,420)	(12,400)	(0)	(12,400)	(0)	(0)	(0)
(241)	教委	再		総	いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業費(探究共創事業費)【学校教育室】	(12,574)	(10,618)	(5,308)	(0)	(0)	(5,310)	(0)
262	教委			総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	294	292	0	219	0	73	0
⑧ 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成												
(262)	教委	再		総	指導運営費(理数系人材育成事業費)【学校教育室】	(294)	(292)	(0)	(219)	(0)	(73)	(0)
⑨ 岩手と世界をつなぐ人材の育成												
269	教委			総	外国青年招致事業費(外国語指導助手(ALT)招致事業費)【学校教育室】	73,945	73,581	0	236	0	73,345	0
270	教委			総	外国語教育推進事業費【学校教育室】	130,680	130,680	0	0	0	130,680	0
(188)	教委	再		総	中高連携学力向上推進事業費【学校教育室】	(1,268)	(1,205)	(0)	(0)	(0)	(1,205)	(0)
271	教委			総	指導運営費(いわて高校生留学促進事業費)【学校教育室】	1,800	1,440	1,440	0	0	0	0
272	教委			総	雲南省教育交流推進事業費【学校教育室】	0	0	0	0	0	0	0
273	教委			総	いわての地域国際化人材育成事業費【学校教育室】	7,841	7,841	0	0	0	7,841	0
274	教委			復・総	日本の次世代リーダー養成塾派遣事業費【教育企画室】	1,130	1,130	0	130	0	1,000	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
進学支援事業実施校数	校	7	7	A	進学支援事業の成果があった学校の割合 (評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
就職等支援事業実施校数	校	14	14	A	就職等支援事業の成果があった学校の割合 (評価ランクB以上の学校の割合)	%	100	100	A
魅力ある学校づくりを実施した高校数	校	63	63	A	事業目的の成果があった高校の割合(評価ラ ンクB以上の高校の割合)	%	100	98	B
-	-	-	-	-	協議体(魅力化コンソーシアム)を設置してい る高校(分校を含む)の割合	%	60.9	61.9	A
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中 中学校数	校	12	12	A
科学の甲子園ジュニア県大会実施回数	回	1	1	A	科学の甲子園ジュニア県大会に参加した中 中学校数	校	12	12	A
外国語指導助手(ALT)の招致人数	人	17	17	A	ALTを活用した県立学校数	校	21	19	B
外国語指導助手(NS)の派遣人数	人	23	23	A	NSを週1回以上活用した県立学校数	校	63	63	A
中高連携リーダー教員育成研修会開催回数	回	1	1	A	中高連携リーダー教員育成研修会への参加 教員数	人	8	8	A
留学支援実施回数	回	1	1	A	高校生派遣人数	人	10	24	A
派遣実施回数	回	1	-	-	中国雲南省への教員等派遣人数	人	4	-	-
英検IBA実施学校の割合	%	100	100	A	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組 んだ中学校の割合	%	100	100	A
-	-	-	-	-	英検IBAの結果を踏まえ、授業改善に取り組 んだ高等学校の割合	%	100	100	A
イーハトーブ・キャンプの開催回数	回	4	4	A	イーハトーブキャンプ後、外国語や外国語活 動において肯定的な変化が見られた児童生 徒の割合	%	80	80	A
被災生徒への参加費負担割合	%	100	100	A	-	-	-	-	-

【IV 居住環境・コミュニティ】再掲2事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります												
① 文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進												
(125)	教委	再	コ	総	博物館管理運営費【生涯学習文化財課】	(341,974)	(337,445)	(7,270)	(11,623)	(0)	(318,552)	(0)
(126)	教委	再	コ	総	美術館管理運営費【生涯学習文化財課】	(440,408)	(436,224)	(14,836)	(43,857)	(0)	(377,531)	(0)

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
企画展・テーマ展の開催回数	回	3	4	A	博物館入館者数	人	47,500	31,617	C
美術館における美術普及等のための講座の実施回数	回	45	44	B	美術館入館者数	人	55,000	54,189	B

【Ⅶ 歴史・文化】8事業（再掲1事業を除く）

番号	部局名	再掲	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
40 世界遺産の保存と活用を進めます												
③ 世界遺産の持つ新たな魅力の発信												
610	教委			総	文化財保護推進費(平泉文化研究機関整備推進事業費)【生涯学習文化財課】	4,000	4,000	0	0	0	4,000	0
611	教委			総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	58,047	46,792	14,452	28	0	32,312	9,460
41 豊かな歴史や民俗芸能などの伝統文化が受け継がれる環境をつくり、交流を広げます												
④ 様々な文化財などを活用した交流の推進												
615	教委			復・総	文化財保護推進費(被災ミュージアム再興事業費)【生涯学習文化財課】	485,771	476,192	238,095	0	0	238,097	0
616	教委			総	文化財保護推進費(文化財保護事業費)【生涯学習文化財課】	62,545	62,266	0	0	0	62,266	0
617	教委			総	文化財保護推進費(農業基盤整備関連埋蔵文化財発掘調査事業費)【生涯学習文化財課】	5,051	5,051	2,525	0	0	2,526	0
618	教委			総	文化財保護推進費(埋蔵文化財緊急発掘調査事業費補助)【生涯学習文化財課】	9,451	9,320	0	0	0	9,320	0
(611)	教委	再		総	柳之御所遺跡整備調査事業費【生涯学習文化財課】	(58,047)	(46,792)	(14,452)	(28)	(0)	(32,312)	(9,460)
619	教委			総	柳之御所遺跡土地公有化事業費【生涯学習文化財課】	0	0	0	0	0	0	0
620	教委			総	カモシカ特別対策費【生涯学習文化財課】	9,243	9,158	5,440	0	0	3,718	0

活動内容指標					成果指標				
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			目標値	実績値	達成度
平泉学フォーラムの開催回数	回	1	1	A	平泉学フォーラムの参加者数	人	420	350	B
研究年報の発行回数	回	1	1	A	-	-	-	-	-
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-
被災資料の安定化処理及び修復を行う市町村への補助数	件	1	1	A	仮設収蔵庫整備数累計	棟	14	14	A
文化財修理等への補助件数	件	20	19	B	-	-	-	-	-
農家負担分経費の負担(調査)件数	件	2	2	A	-	-	-	-	-
市町村発掘調査の助成件数	件	17	17	A	-	-	-	-	-
史跡整備に伴う発掘調査の実施面積	m ²	800	800	A	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市町村への食害対策費補助	件	2	2	A	-	-	-	-	-

【IX 社会基盤】再掲2事業

番号	部局名	区分	コロナ 関連	計画 関連	事業名	令和4年度					繰越額 (千円)	
						最終予算額 (千円)	決算額 (千円)					
								国庫	その他	県債		一般
46 安全・安心を支える社会資本を整備します												
② 公共建築物等の耐震化による安全の確保												
(231)	教委	再			校舎大規模改造事業費(校舎大規模改造事業費)【教育企画室】	(634,039)	(592,257)	(0)	(46,838)	(460,000)	(85,419)	(41,187)
(232)	教委	再			校舎建設事業費(校舎耐震改築事業費)【教育企画室】	(69,828)	(69,824)	(0)	(38,133)	(28,000)	(3,691)	(0)

活動内容指標				成果指標					
指標名	単位	令和4年度			指標名	単位	令和4年度		
		計画値	実績値	達成度			計画値	実績値	達成度
県立学校の長寿命化改良・大規模改造着手施設数	施設	-	-	—	県立学校の長寿命化改良・大規模改造実施施設数	施設	-	-	—
県立学校の普通教室への冷房設備工事着手施設数	施設	-	-	—	県立学校の普通教室への冷房設備工事実施施設数	施設	-	-	—
県立学校の校舎耐震改築工事着工数	施設	-	-	—	県立学校の耐震化率	%	100	100	A

議案第 20 号

県立学校の設置及び廃止並びに県立学校の学科の設置に関し議決を求めることについて

次のとおり県立学校の設置及び廃止並びに県立学校の学科の設置をすることについて、議決を求める。

1 県立高等学校の設置

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立北桜高等学校		全日制	機械システム科	二戸市及び二戸郡一戸町
		全日制	電気情報システム科	
		全日制	総合学科	

2 県立高等学校の廃止

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立福岡工業高等学校		全日制	機械システム科	二戸市
		全日制	電気情報システム科	
岩手県立一戸高等学校		全日制	総合学科	二戸郡一戸町

3 県立高等学校の学科の設置

学校名	区 分	課程等	学科名	位 置
岩手県立大槌高等学校		全日制	地域探究科	上閉伊郡大槌町

4 設置及び廃止の時期

令和 6 年 4 月 1 日

令和 5 年 8 月 21 日 提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 一 男

理由

県立学校の設置及び廃止並びに県立学校の学科の設置をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

令和6年度 県立学校の編制について

岩手県教育委員会

I 令和6年度 県立高等学校の編制について

1 課程別・学科別募集学級数及び募集定員

令和6年度の課程別・学科別募集学級数及び募集定員の状況は、次の表のとおりである。

区 分		募集学級数			募集定員			
		5年度	6年度	差	5年度	6年度	差	
県立高等学校	全日制	普通科・理数科・体育科	125	124	▲1	5,000	4,960	▲40
		職業に関する学科	69	69	0	2,760	2,760	0
		総合学科	24	24	0	960	960	0
		小 計	218	217	▲1	8,720	8,680	▲40
	定時制	普通科	13	13	0	520	520	0
		職業に関する学科	1	1	0	40	40	0
		小 計	14	14	0	560	560	0
合 計		232	231	▲1	9,280	9,240	▲40	

2 ブロック別募集学級数増減

令和6年度のブロック別募集学級数増減の状況は、次の表のとおりである。

ブロック	募集学級数 (全日制、定時制)	学校名	令和5年度設置学科 及び募集学級数	令和6年度設置学科 及び募集学級数	令和6年度募集学級数増減		
					学 科	増	減
盛岡	73→73 (全68、定5)	(該当なし)					
岩手 中部	37→37 (全37、定0)	(該当なし)					
胆江	24→23 (全21、定2)	前 沢	普通(普通) 2	普通(普通) 1	普通(普通)		▲1
両磐	23→23 (全22、定1)	(該当なし)					
気仙	14→14 (全13、定1)	(該当なし)					
釜石・ 遠野	15→15 (全14、定1)	大 槌	普通(普通) 2	普通(地域探究) 2	普通(普通) 普通(地域探究)	2	▲2
宮古	17→17 (全16、定1)	(該当なし)					
久慈	16→16 (全14、定2)	(該当なし)					
二戸	13→13 (全12、定1)	福 岡 工 業	工業(機械システム) 1 工業(電気情報システム) 1				▲1 ▲1
		一 戸	総合 3				▲3
		北 桜		工業(機械システム) 1 工業(電気情報システム) 1 総合 3		1 1 3	
合計	232 → 231 (全217、定14)				普通 普通・理数 体育 農業 工業 商業 水産 家庭 総合 定時制	2 2 3	▲3 ▲2 ▲3
					計	7	▲8

3 学科改編

令和6年度の学科改編の状況は、次の表のとおりである。

ブロック	学校名	令和5年度設置学科 及び募集学級数	令和6年度設置学科 及び募集学級数	理由
釜石・ 遠野	大槌高校	普通(普通) 2	普通(地域探究) 2	「普通教育を主とする学科」の弾力化(普通科改革)に基づき、地域と協働しながら主体的に課題解決に取り組む人材の育成や、変化の激しい時代を生きていくために必要な資質・能力等の育成等、大槌高校が目指す特色ある探究的な学びに応じた学科へ改編するものである。

4 学校再編

新たな県立高等学校再編計画後期計画で、令和6年度の改編を計画している県立高校の状況は、次の表のとおりである。

ブロック (位置)	学校名	現 行	改編内容	改編の目的
二戸 (二戸市 及び 一戸町)	北桜高校	福岡工業高校 工業(機械システム) 1 工業(電気情報システム) 1 一戸高校 総合 3	【統合】 北桜高校 工業(機械システム) 1 工業(電気情報システム) 1 総合 3	福岡工業高校、一戸高校を統合することにより、専門分野に関する特色ある学科等の機能を維持しながら、二戸ブロックの専門教育の拠点となる学校を整備するものである。

5 年次進行に伴う県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止 (岩手県立学校設置条例該当事項)

令和6年度における県立高等学校の分校、課程及び学科の廃止はない。

II 令和6年度 県立特別支援学校の編制について

令和6年度に、県立特別支援学校の課程及び学科の変更はない。